

 SoftBank

2013年3月期

決算説明会

2013年4月30日

ソフトバンク株式会社

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

7年前

ボーダフォン日本法人買収

(2006年)



2005年度



4%

純増シェア

48%



約1.8万局

基地局数

約3万局



31位

CM好感度

5位



763億円

営業利益

8,326億円



全てにおいて負けていた

NTTドコモの基地局数：FOMA基地局数(ドコモ通信Vol.30)
CM好感度：CM総合研究所/CM DATABANK (全2,038社中)

積年の想い

10年以内に
ドコモを超える

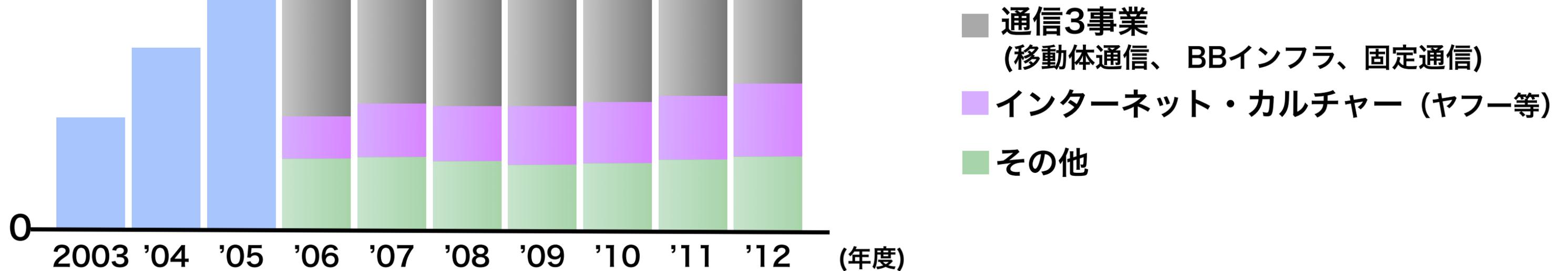
連結業績

売上高

3.4兆円

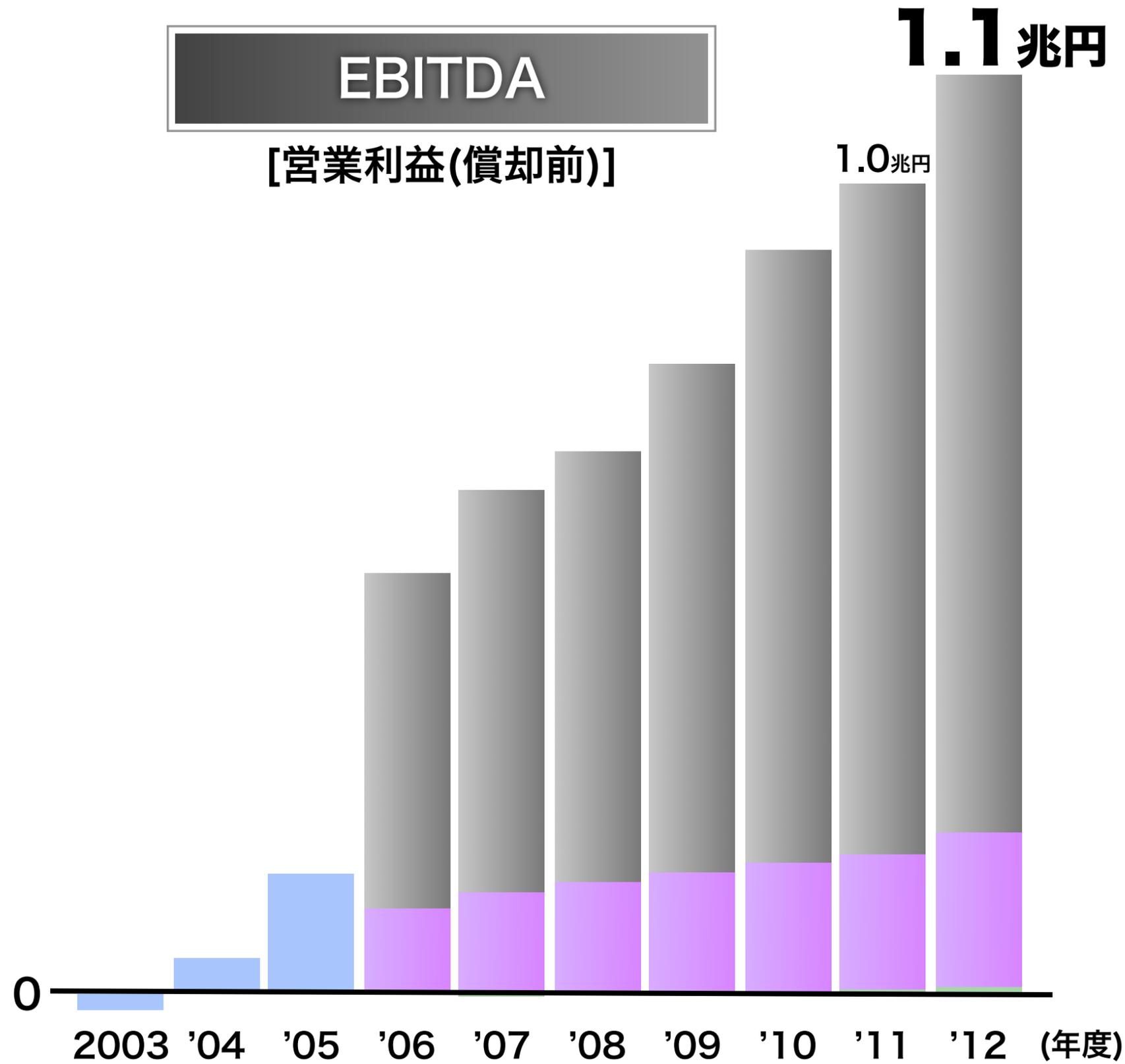
3.2兆円

3期連続過去最高
6%増



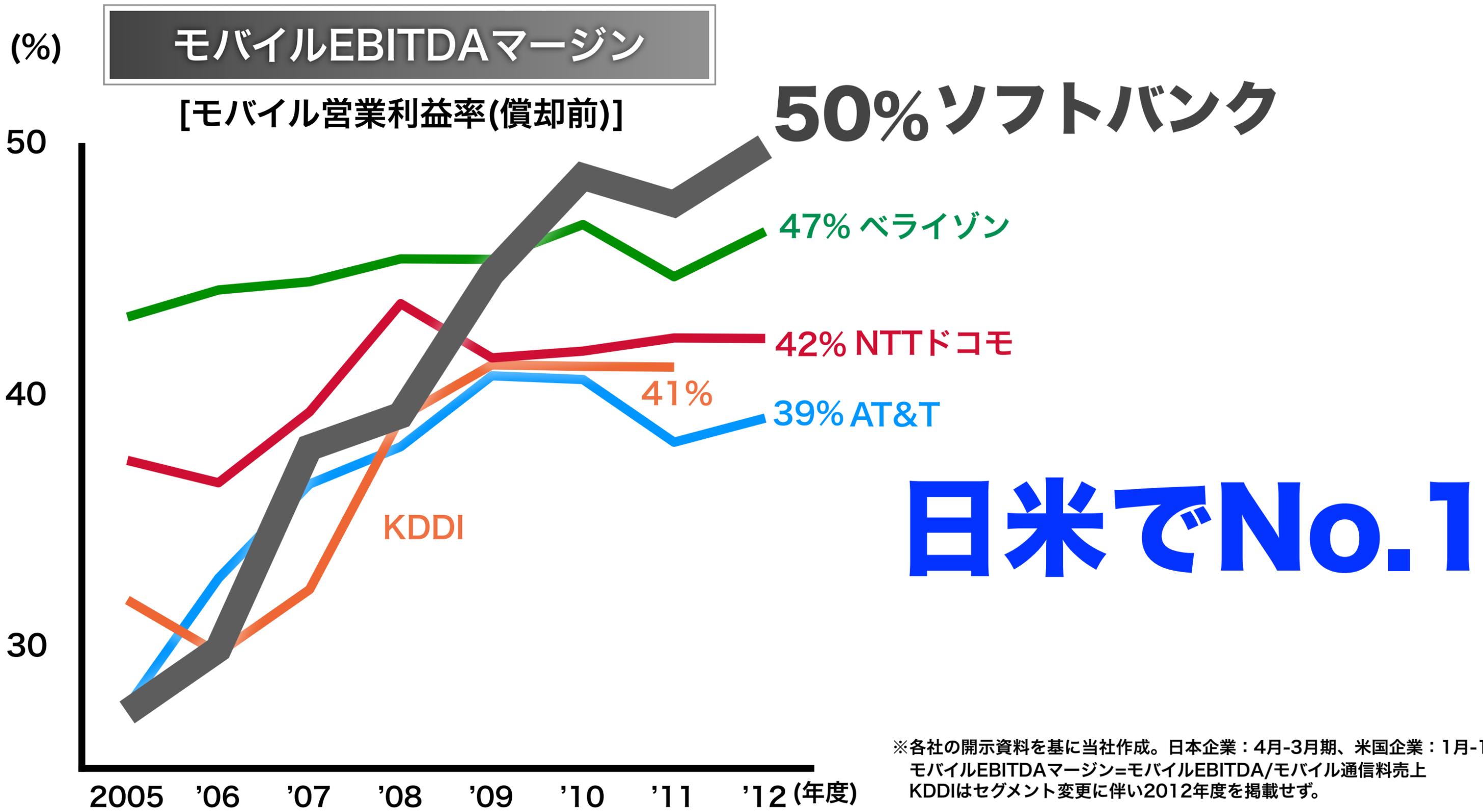
EBITDA

[営業利益(償却前)]



8期連続最高益
13%増

- 通信3事業
(移動体通信、BBインフラ、固定通信)
- インターネット・カルチャー (ヤフー等)
- その他



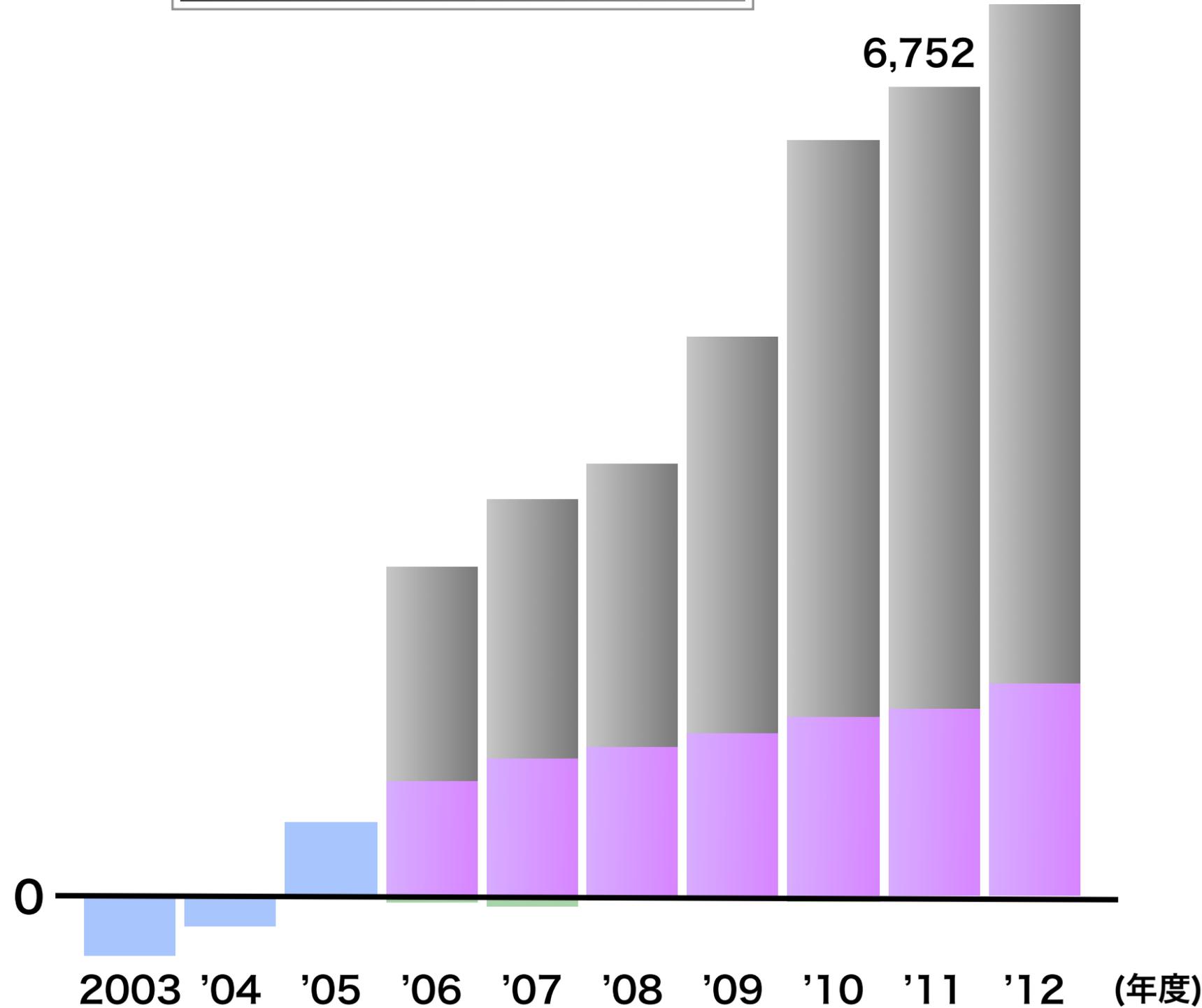
※各社の開示資料を基に当社作成。日本企業：4月-3月期、米国企業：1月-12月期。
 モバイルEBITDAマージン=モバイルEBITDA/モバイル通信料売上
 KDDIはセグメント変更に伴い2012年度を掲載せず。

(億円)

営業利益

7,450

8期連続最高益
10%増



- 通信3事業
(移動体通信、BBインフラ、固定通信)
- インターネット・カルチャー (ヤフー等)
- その他

(億円)

営業利益

NTTドコモ

8,372

7,450 ソフトバンク

ドコモに迫る

0

2005 '06 '07 '08 '09 '10 '11 '12 (年度)

※各社の開示資料を基に当社作成

営業利益 増減率
(2012年度)

+10%

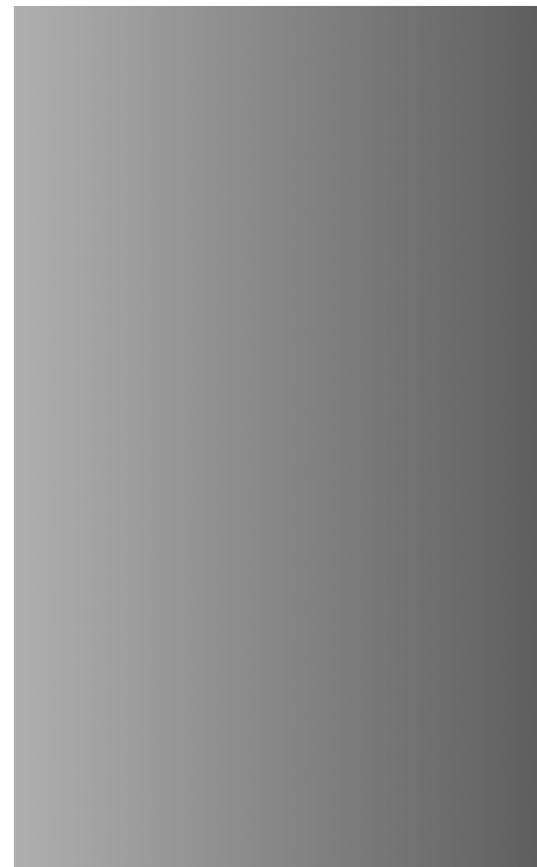
大幅増益

0



▲4%
NTTドコモ

ソフトバンク



※各社の開示資料を基に当社作成

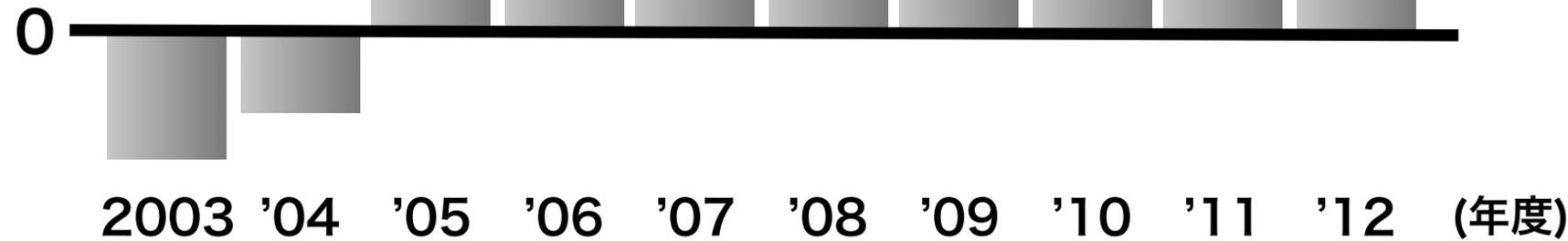
(億円)

経常利益

6,532

5,736

4期連続最高益
14%増

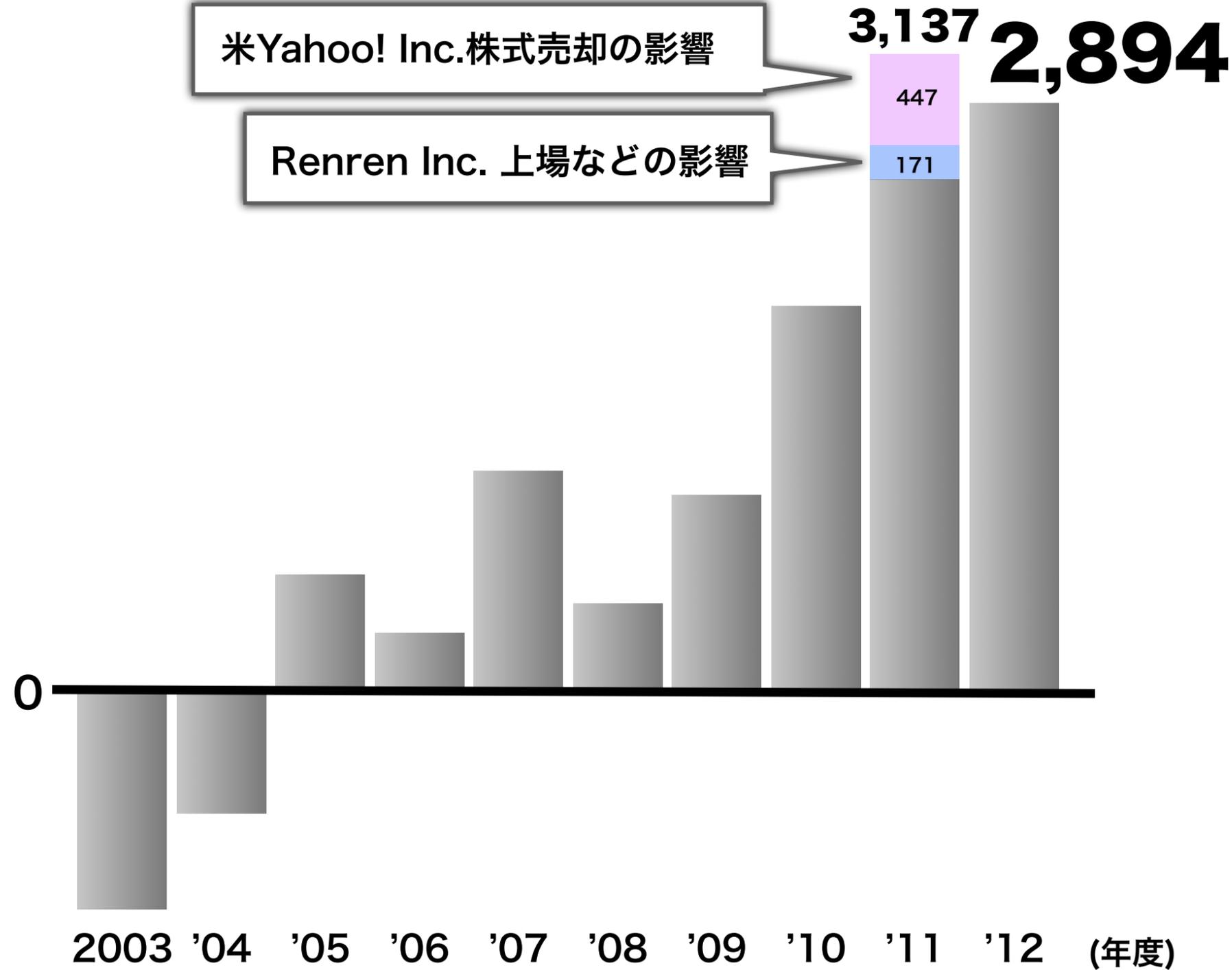


(億円)

当期純利益

米Yahoo! Inc.株式売却の影響

Renren Inc. 上場などの影響



順調に推移



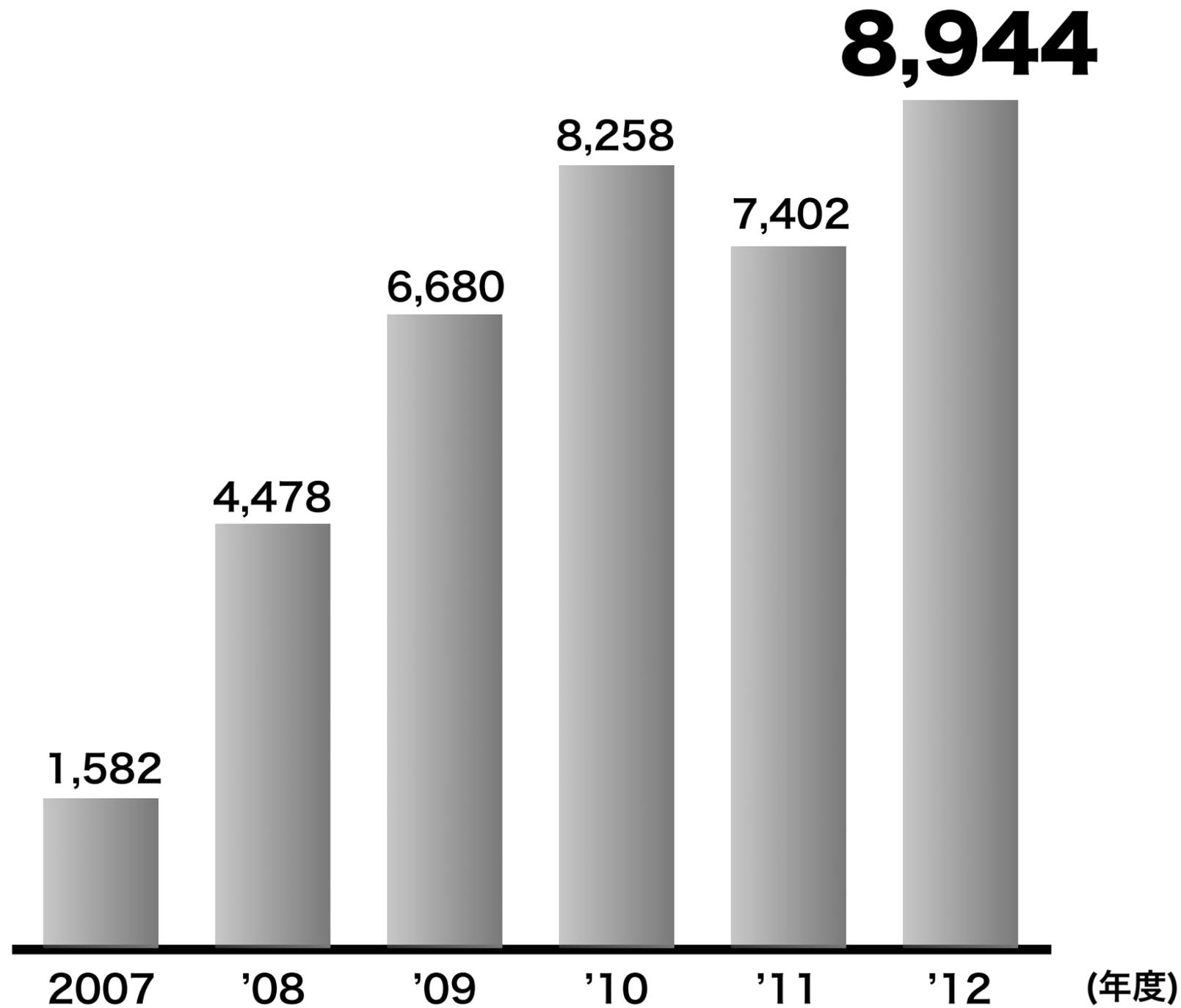
連結業績サマリー

(億円)

	'11年度	'12年度	増減	前期比
売上高	32,024	33,783	1,759	106%
EBITDA [営業利益(償却前)]	10,137	11,498	1,360	113%
営業利益	6,752	7,450	697	110%
経常利益	5,736	6,532	795	114%
当期純利益	3,137	2,894	▲243	92%

(億円)

営業キャッシュフロー



順調に増加



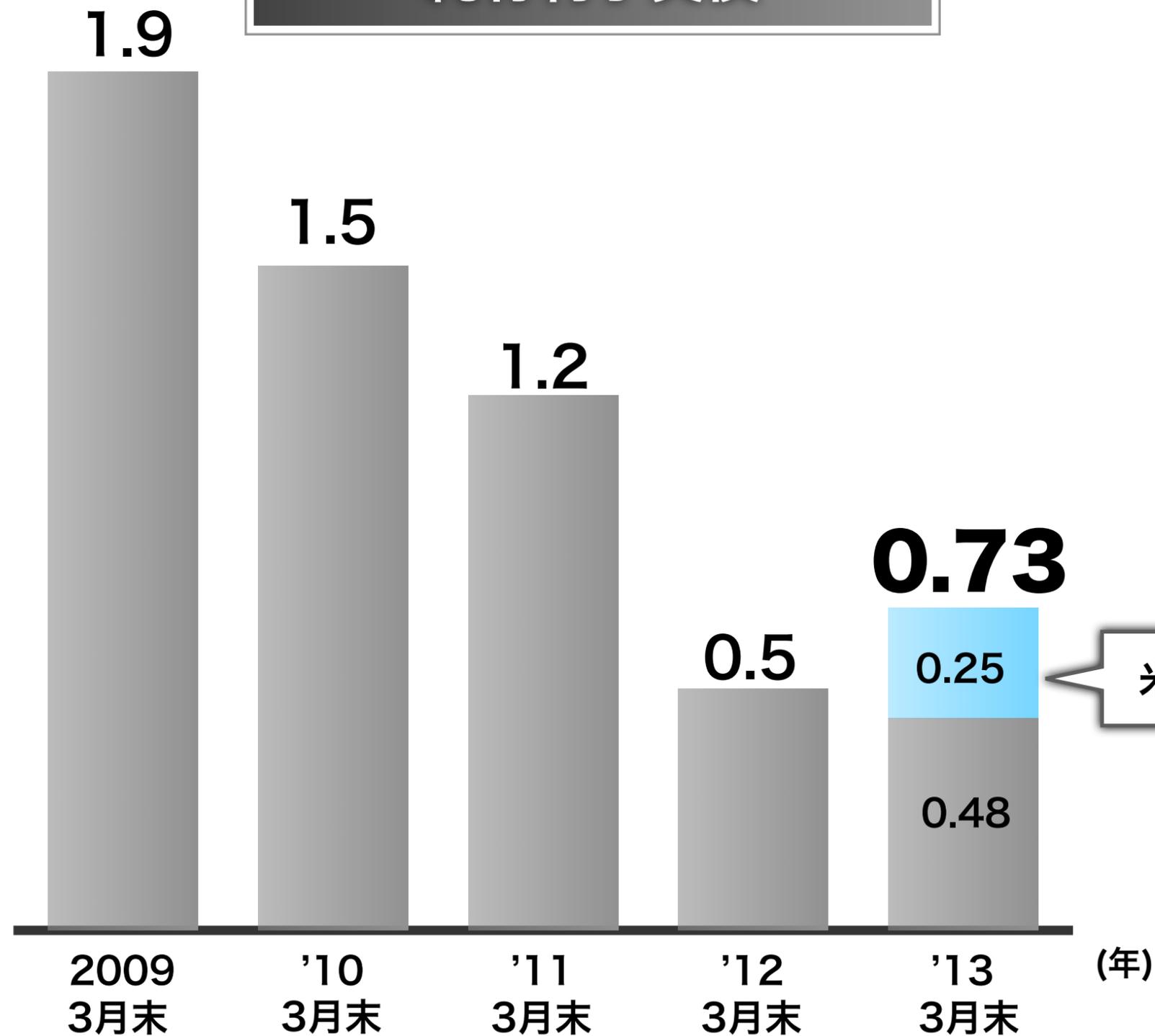
キャッシュフローの状況

(億円)

	'11年度	'12年度
営業キャッシュフロー	7,402	8,944
フリーキャッシュフロー	3,645	▲253
内訳		
① 米国Sprint 転換社債取得	-	▲2,493
② 米国Yahoo! Inc. 株式売却	571	-
③ 設備投資支払	▲4,550	▲5,486

(兆円)

純有利子負債



順調に減少

※リース債務除く

純有利子負債/EBITDA倍率

(倍)

4.0

2.9倍

3.0

2.0

1.0

0

適正水準を維持

0.6倍

0.5倍

2009
3月末

'10
3月末

'11
3月末

'12
3月末

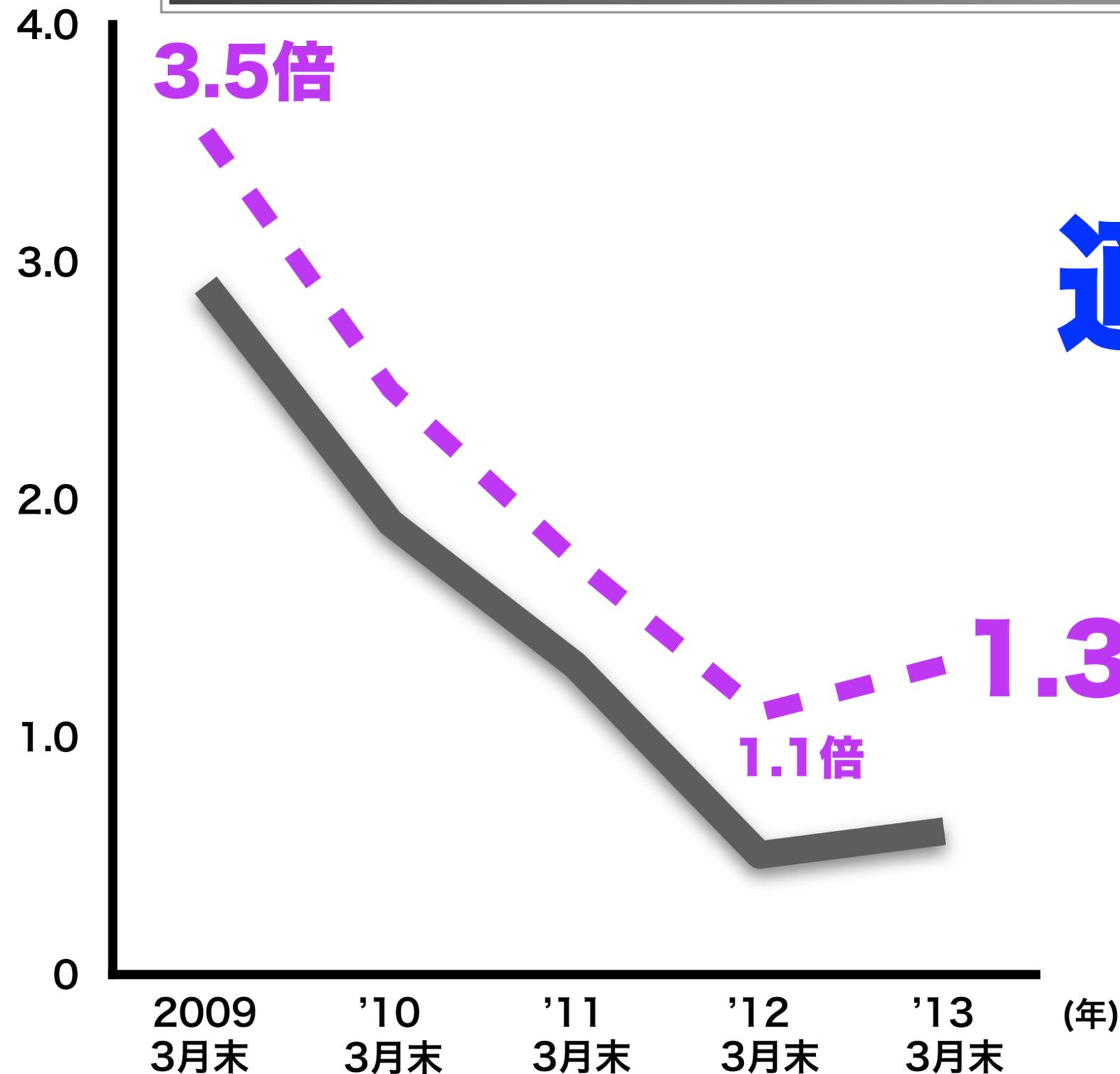
'13
3月末

(年)

※リース債務除く

純有利子負債/EBITDA倍率

(倍)



適正水準を維持

1.3倍 リース債務含む

※リース債務はファイナンスリース

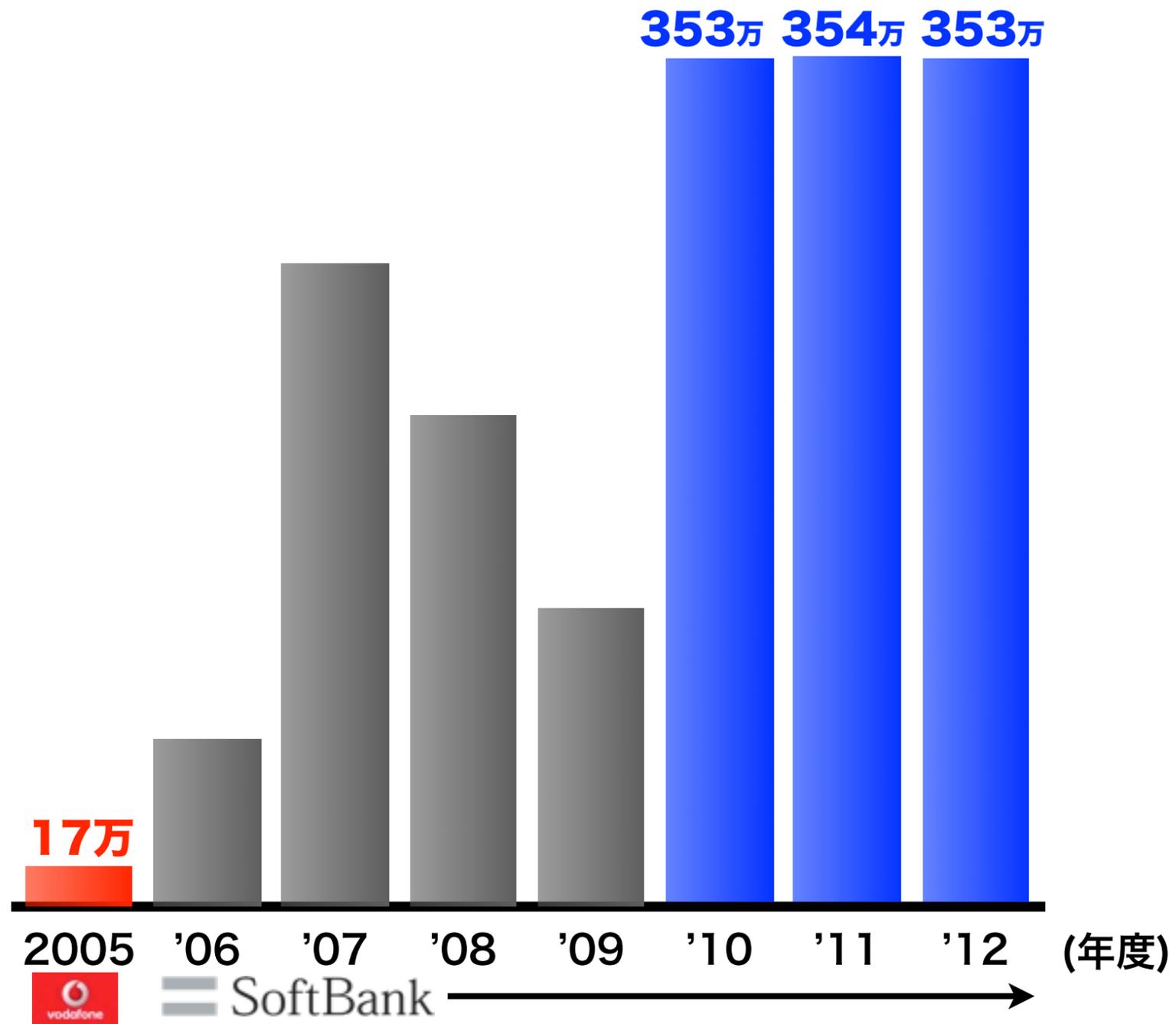
1株当たり配当金

	'11年度	'12年度
中間配当	—	20円
期末配当	40円	20円 (予定)
年間配当	40円	40円 (予定)

配当方針に変更なし

国内通信事業

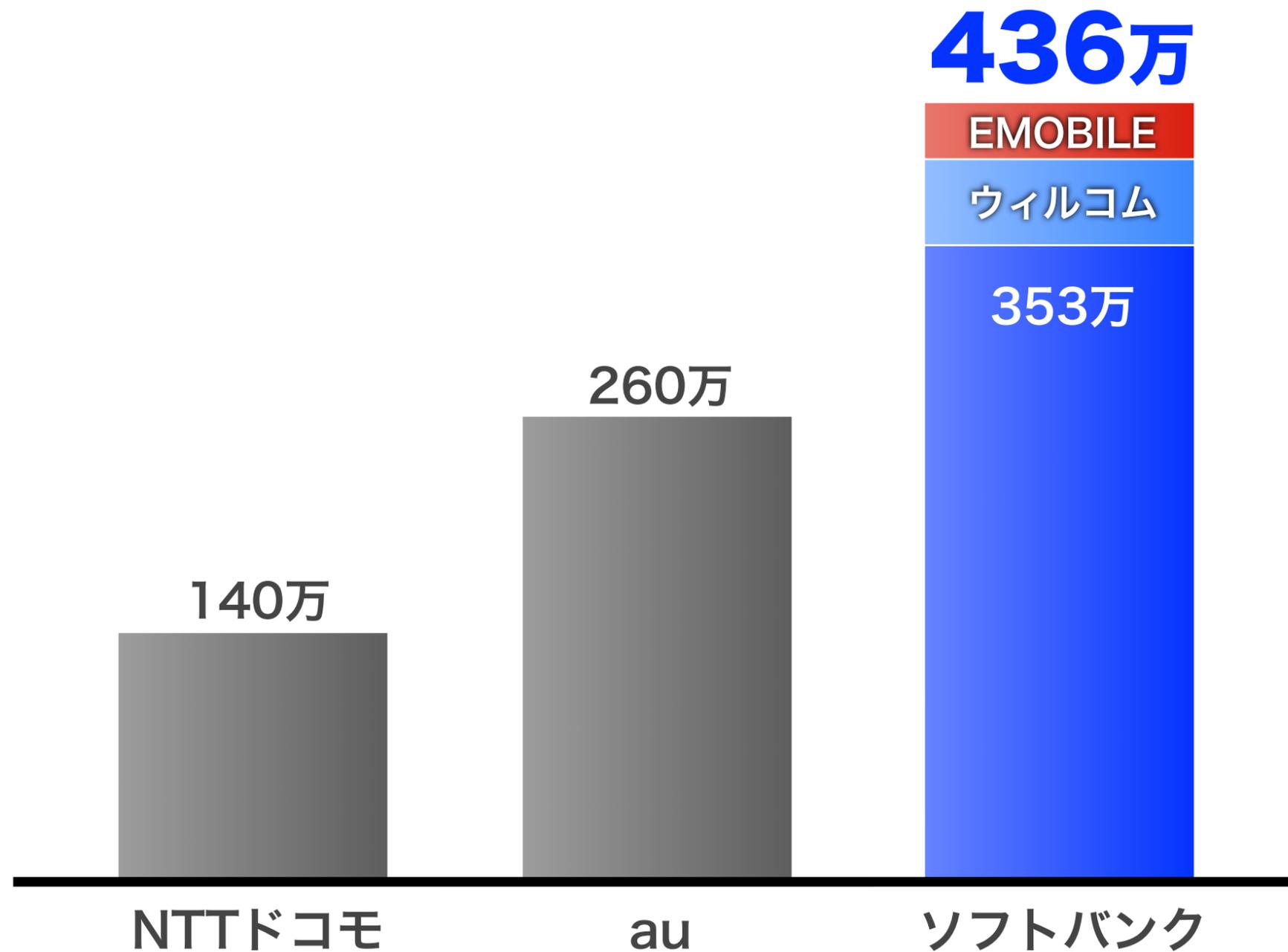
年間純増数



3年で 1,000万超



純増数(2012年度)

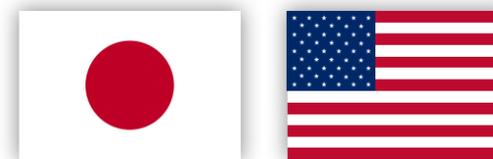
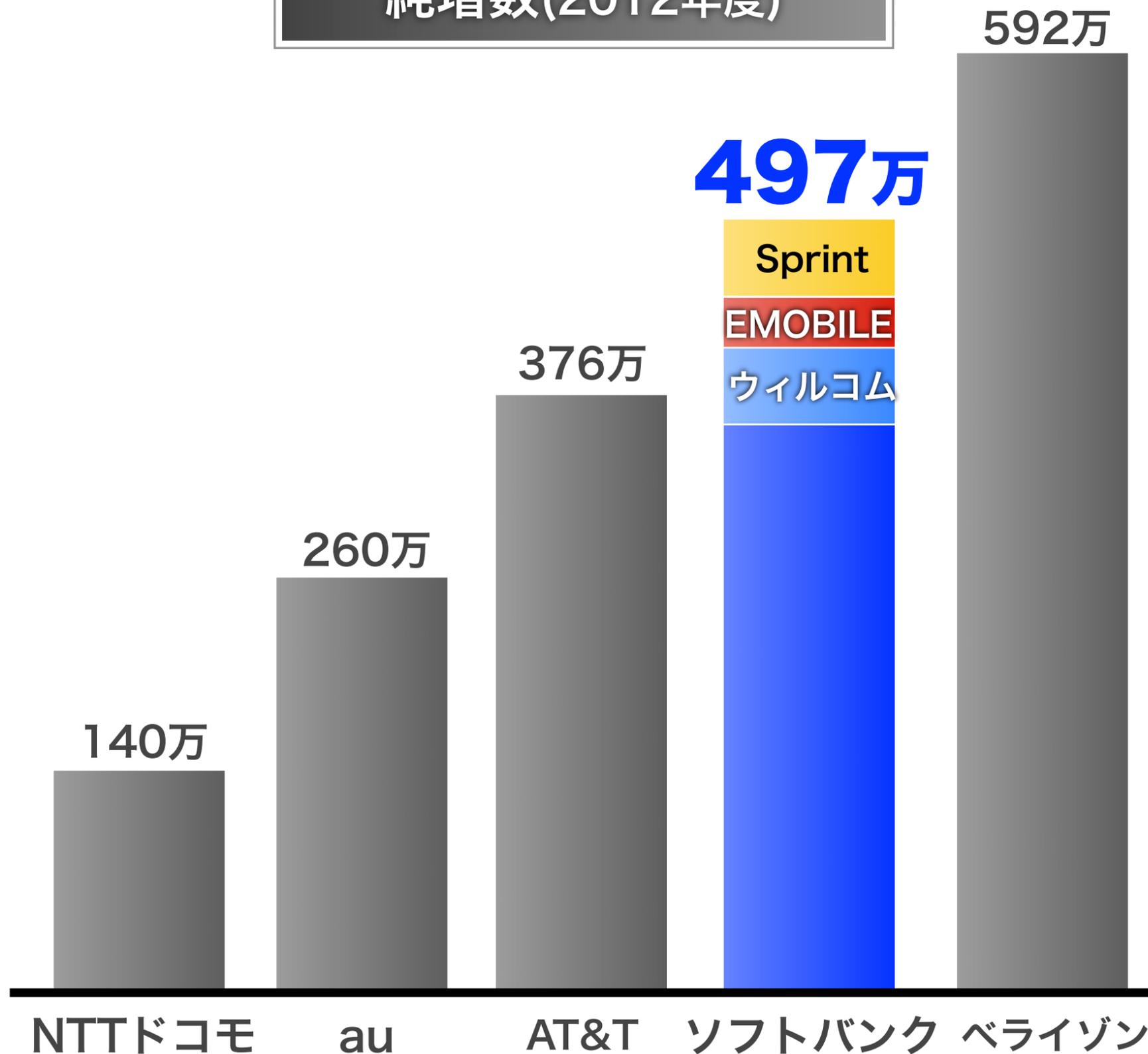


圧倒的No.1



※各社の開示資料を基に当社作成

純増数(2012年度)



日米No.2

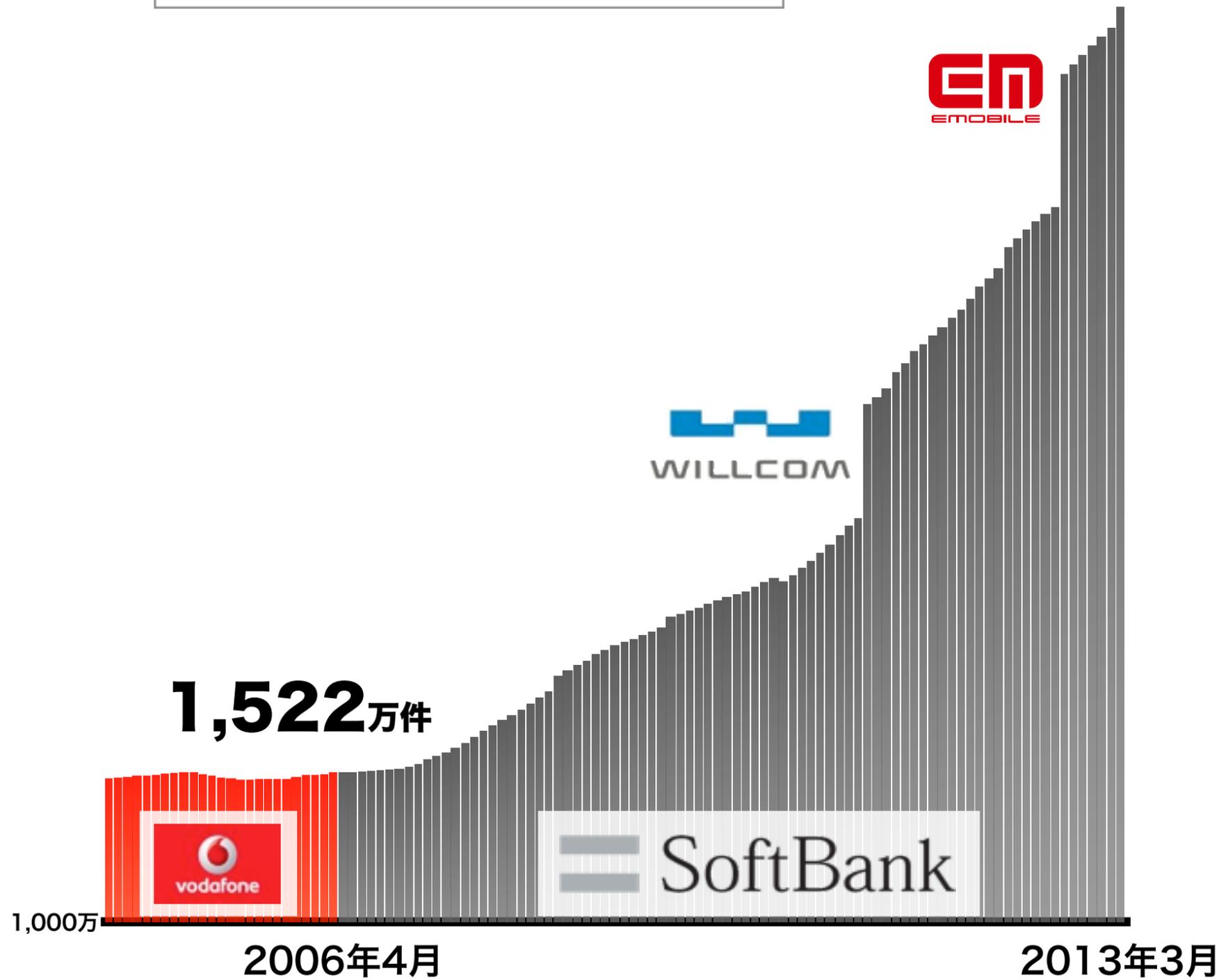


※各社の開示資料を基に当社作成

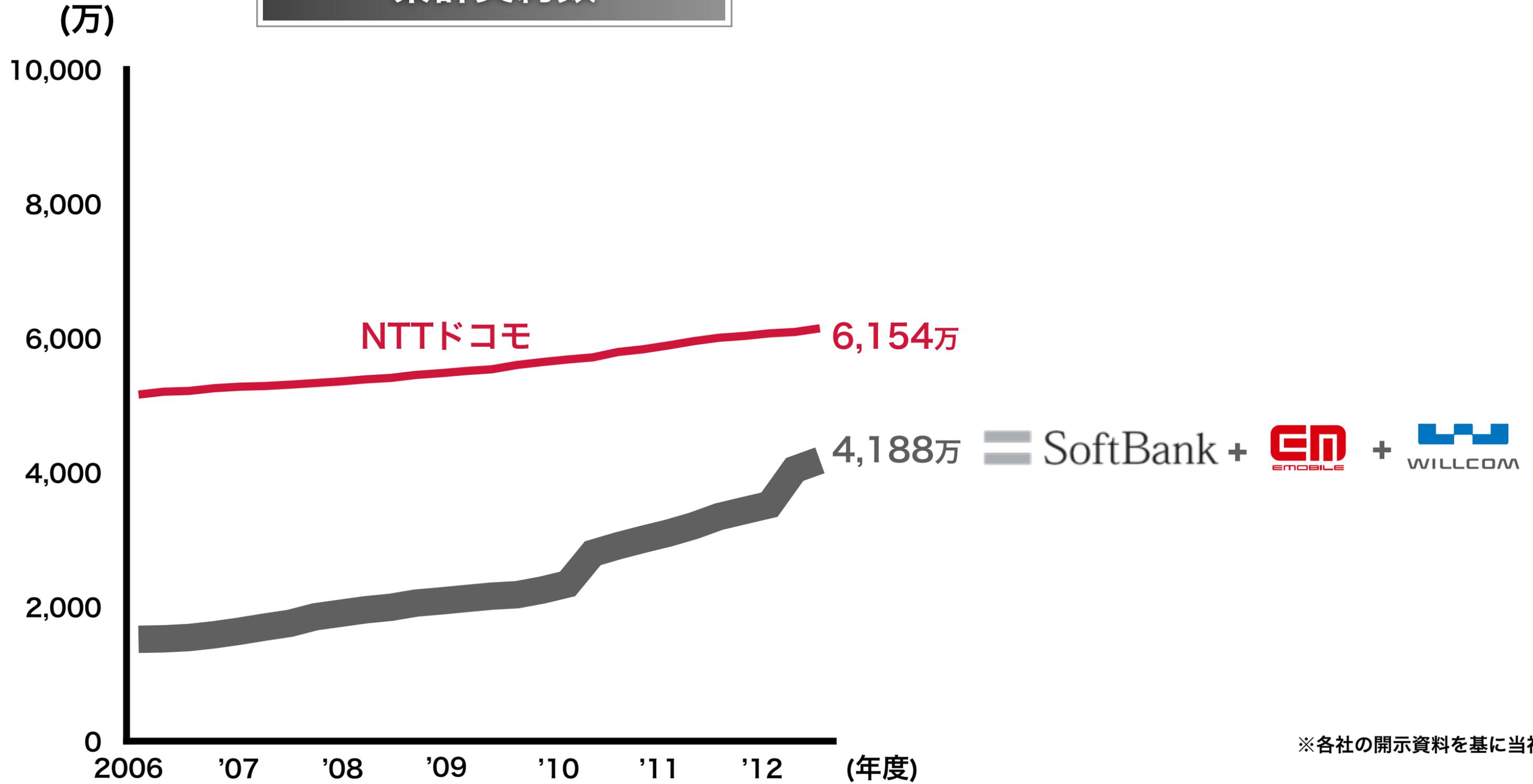
国内 累計契約数

4,188万

順調に増加



累計契約数



※各社の開示資料を基に当社作成

累計契約数

(万)

10,000

8,000

6,000

4,000

2,000

0

2006

'07

'08

'09

'10

'11

'12

(年度)

9,893万

9,710万

SoftBank +  +  + Sprint 

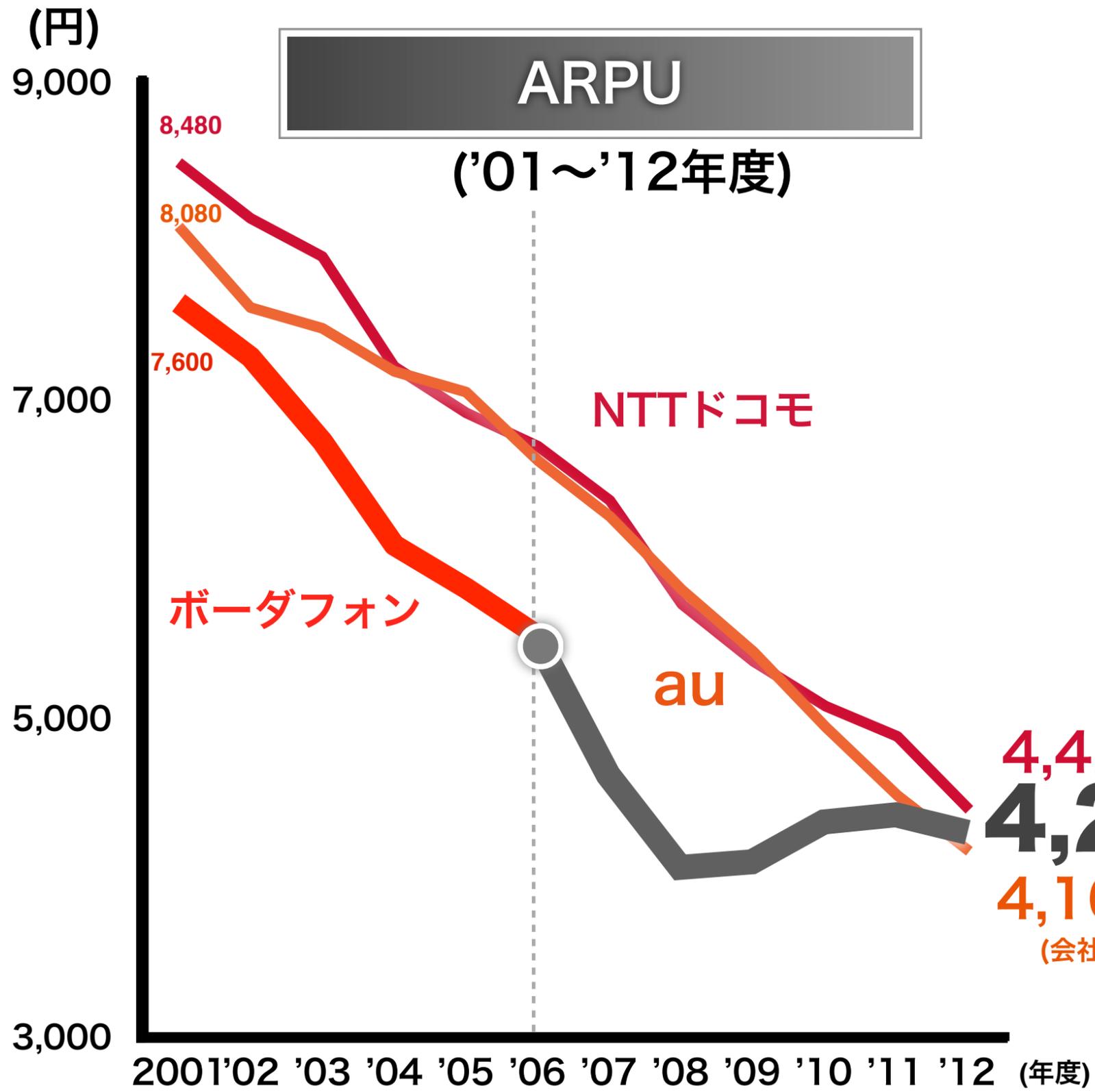
ベライゾン

NTTドコモ

6,154万

ベライゾンに
迫る

※各社の開示資料を基に当社作成
※Verizon:Retailの累計契約数



順調に推移

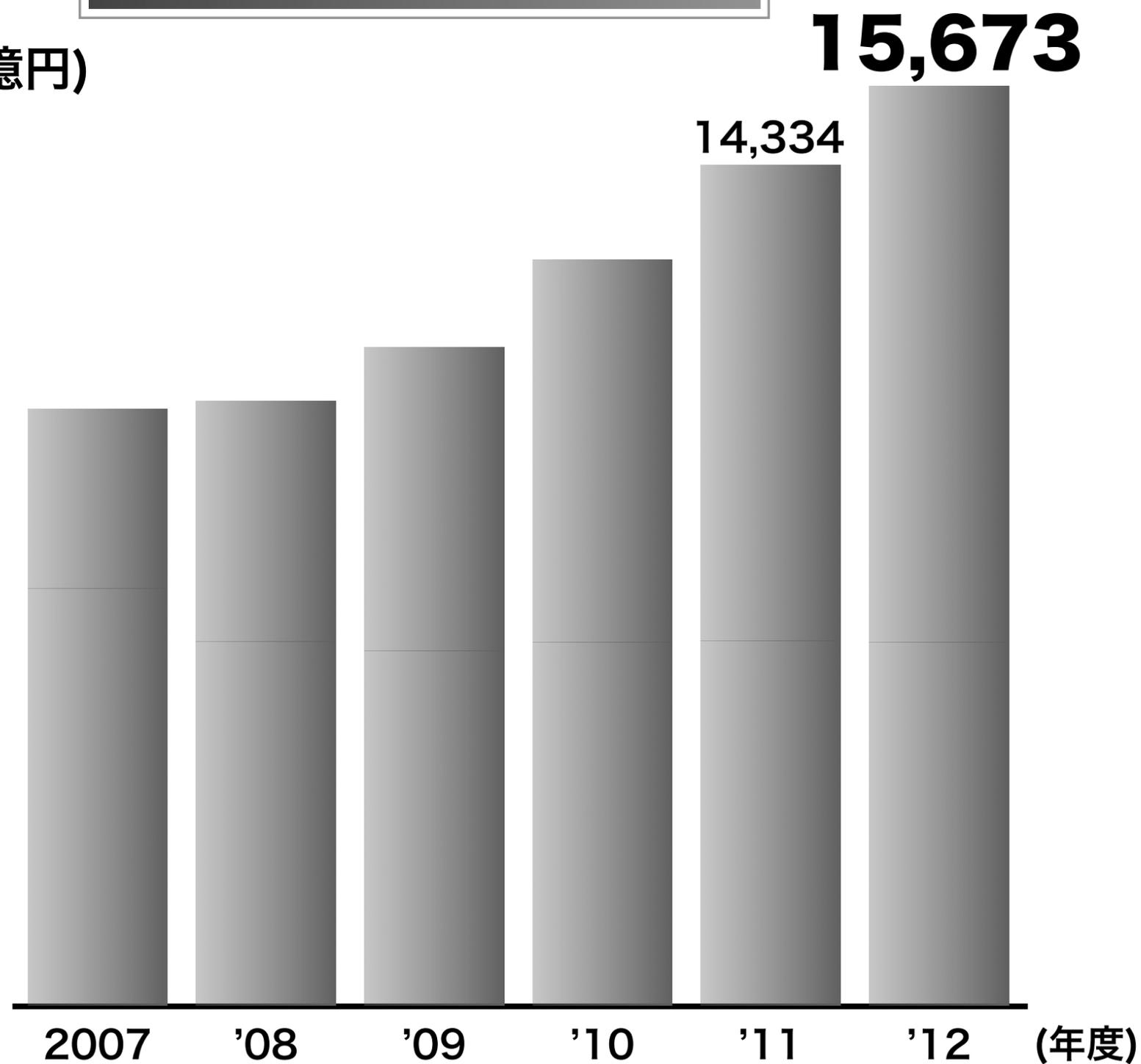
4,420円
4,290円 ソフトバンク

4,160円
(会社予想)

※ARPUは通信モジュールを除く。各社の開示資料を基に当社作成。
 ※ドコモの2012年度は、音声ARPUとパケットARPUの合計。スマートARPUを含まず。
 ※auの2012年度は、パーソナルセグメントの通信ARPU。

モバイル 通信料売上

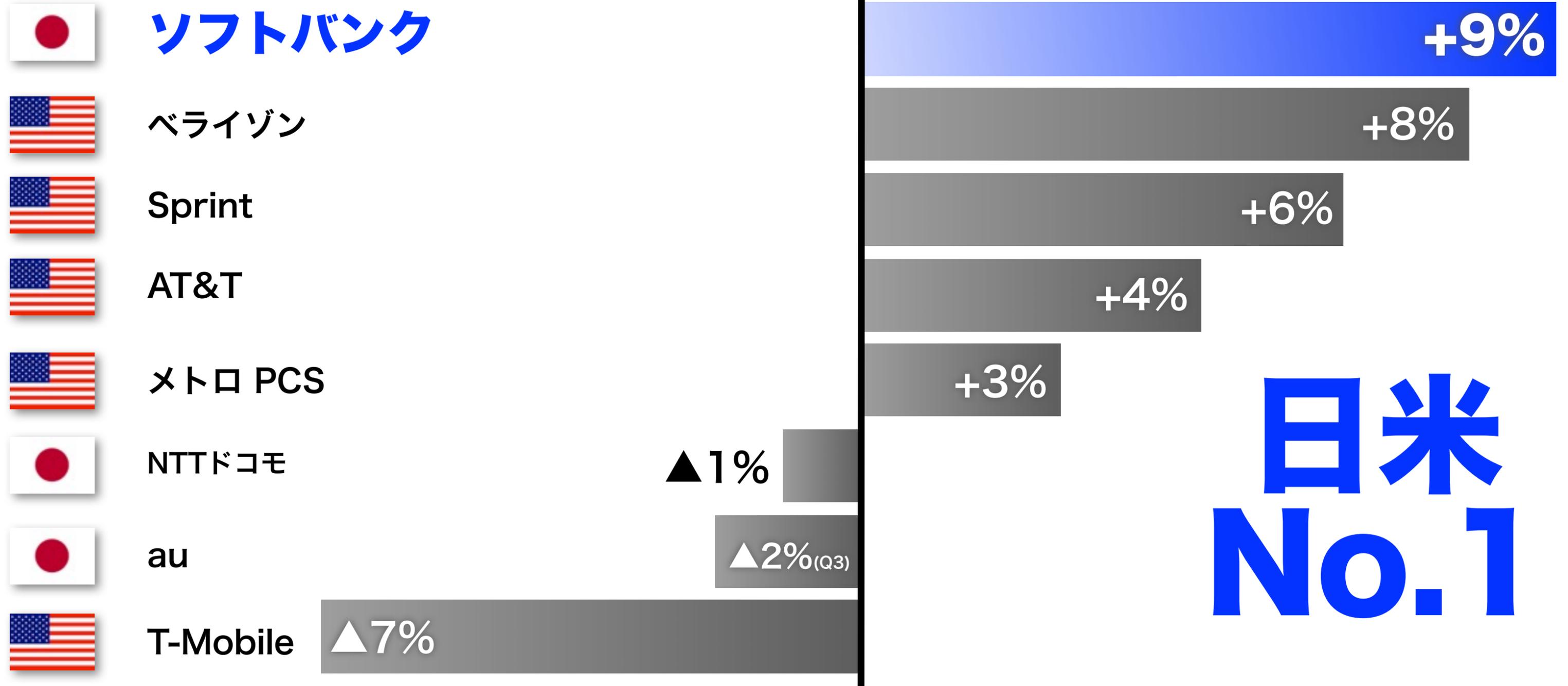
(億円)



順調に増加
9%増収



モバイル 通信料売上増減率 (2012年度)

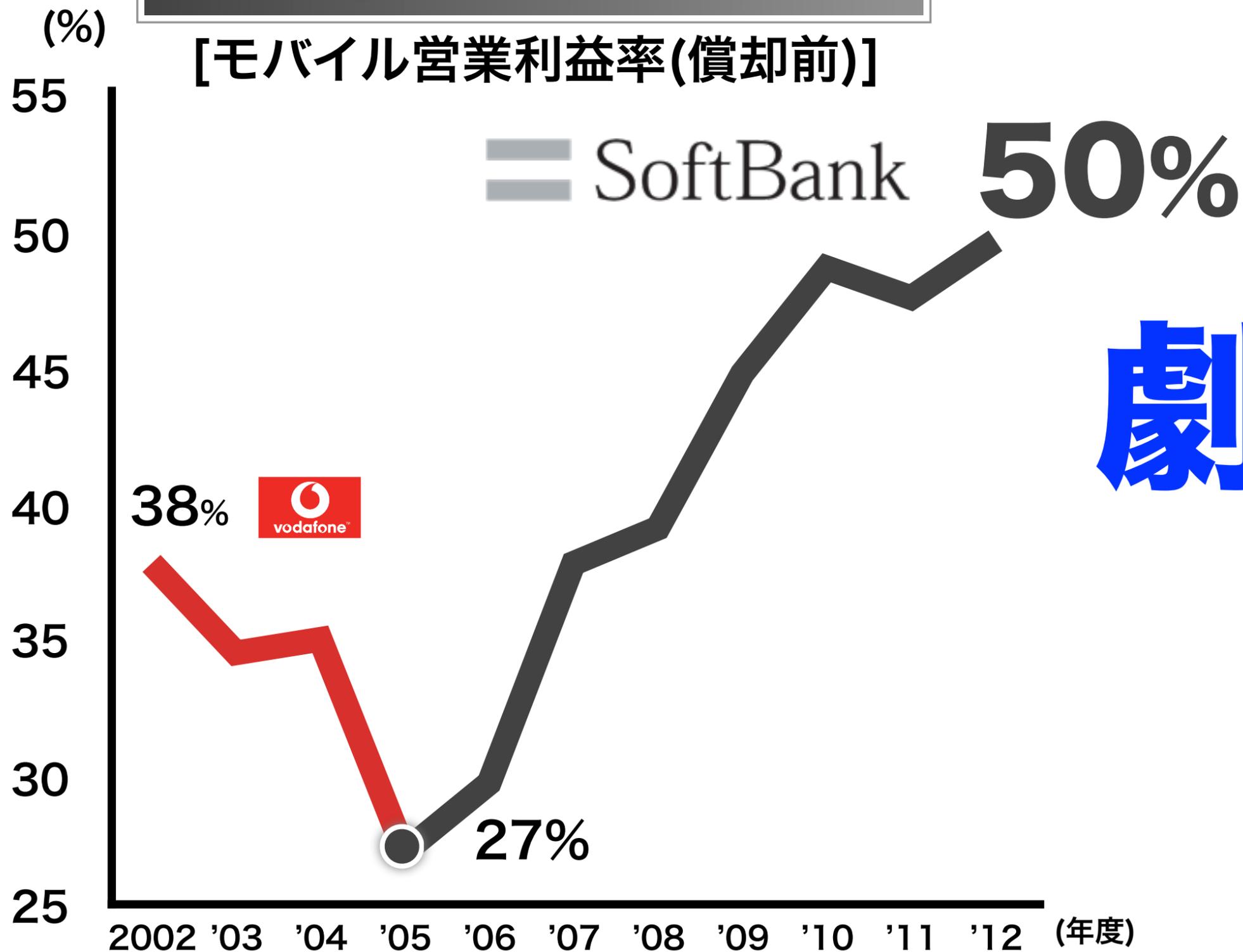


日米
No.1

※各社の開示資料を基に当社作成
auはパーソナルセグメントの通信料収入(モバイル)

モバイルEBITDAマージン

[モバイル営業利益率(償却前)]



劇的に改善

※モバイルEBITDAマージン=モバイルEBITDA/モバイル通信料売上

モバイルEBITDAマージン (2012年度)

[モバイル営業利益率(償却前)]



ソフトバンク

50%



チャイナモバイル

48%



ベライゾン

47%



NTTドコモ

42%



AT&T

39%



バーティ・エアテル

(Q3) 31%

世界
No.1

20%

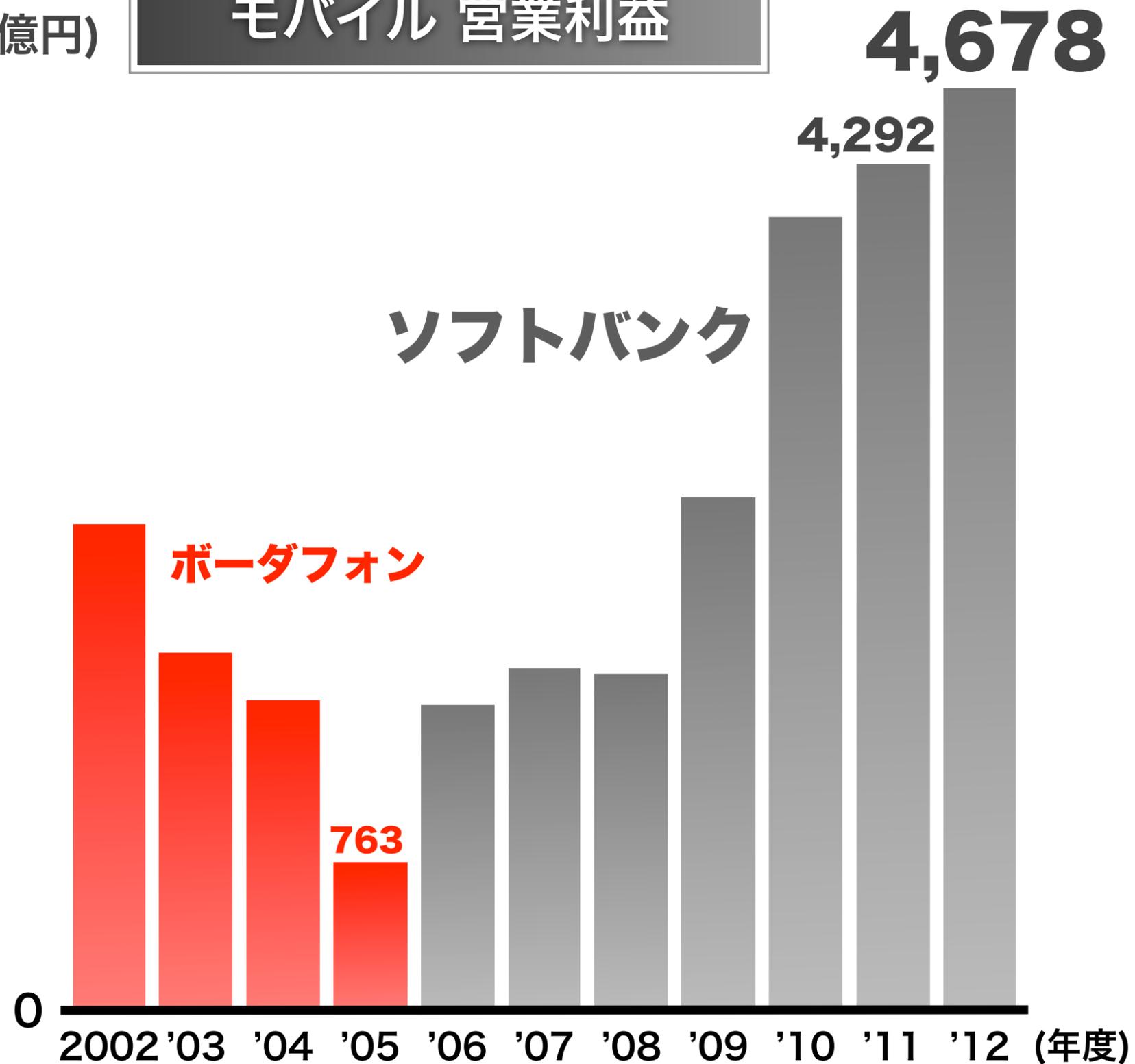
※各社の開示資料を基に当社作成。

モバイルEBITDAマージン=モバイルEBITDA/モバイル通信料売上

(億円)

モバイル 営業利益

ソフトバンク



4期連続最高益
9%増益



(億円)

モバイルEBITDA

[モバイル営業利益(償却前)]

7,830

**6期連続最高益
14%増益**

ソフトバンク

ボーダフォン

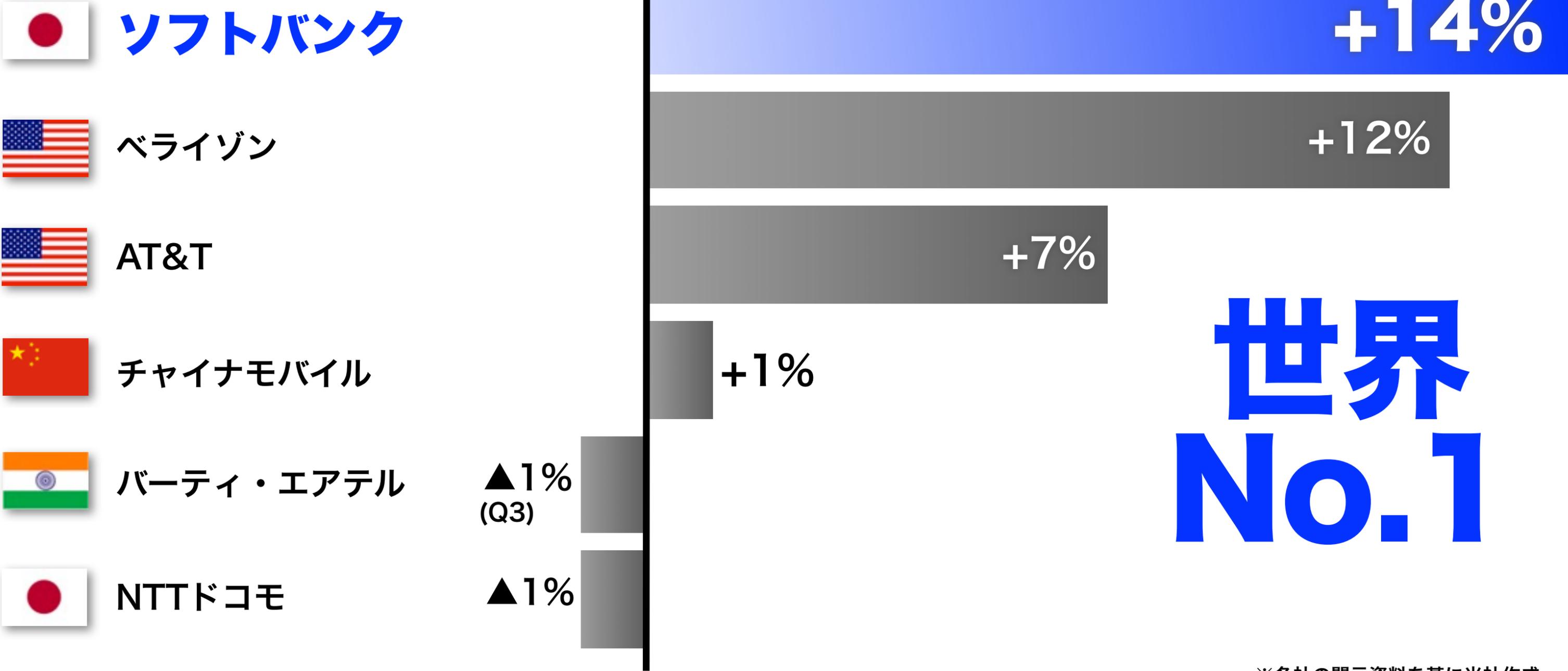
3,008

6,841



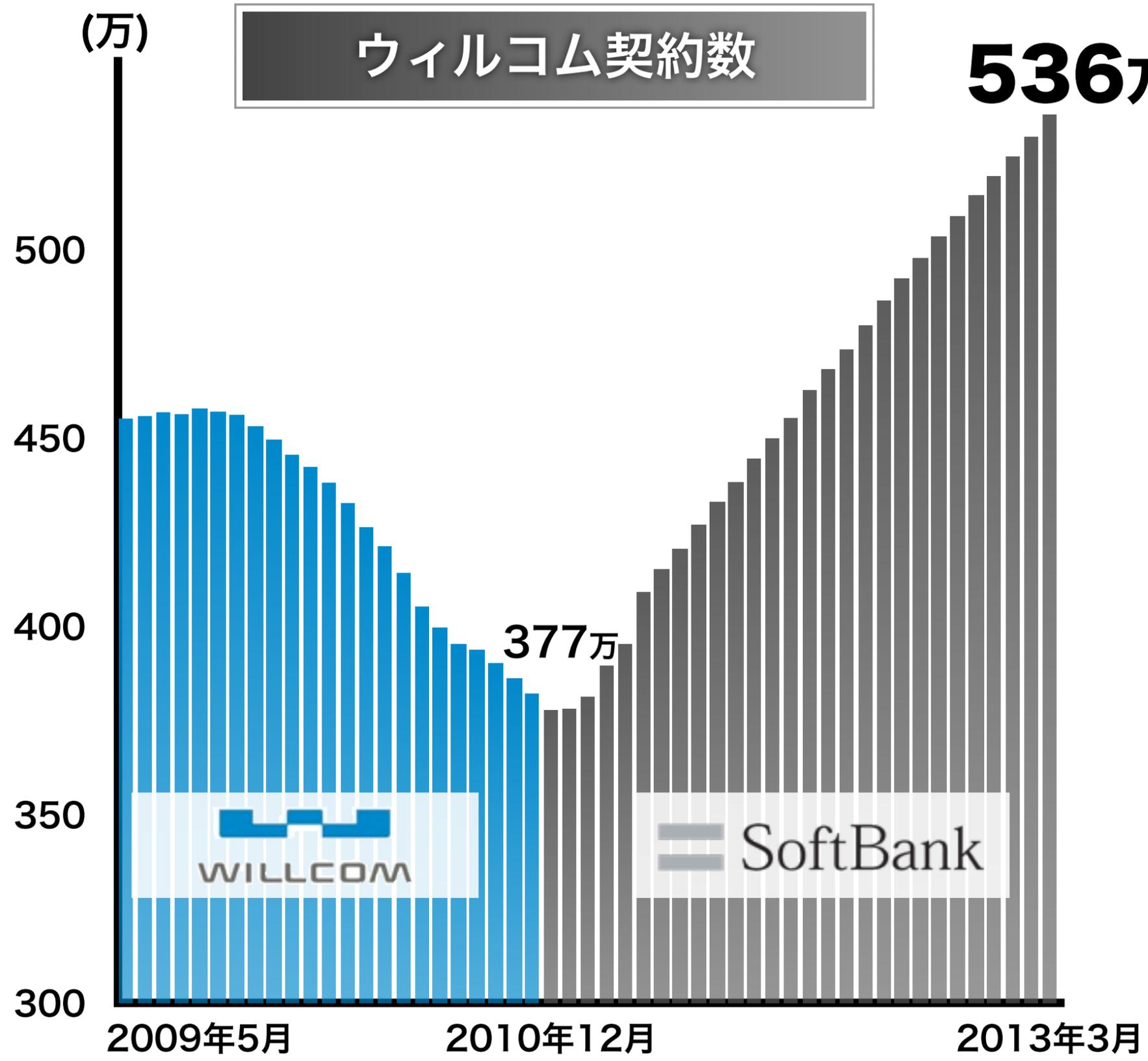
モバイルEBITDA 増減率(2012年度)

[モバイル営業利益(償却前)増減率]



世界
No.1

※各社の開示資料を基に当社作成



過去最高

2011年度Q2以降黒字を維持



※PHS+3G

SoftBank



ウィルコム
の
更生債権・更生担保権(約270億円)を一括弁済
(弁済完了後、裁判所が更生手続終結を決定予定)

**2013年度Q2より
連結子会社化を予定**

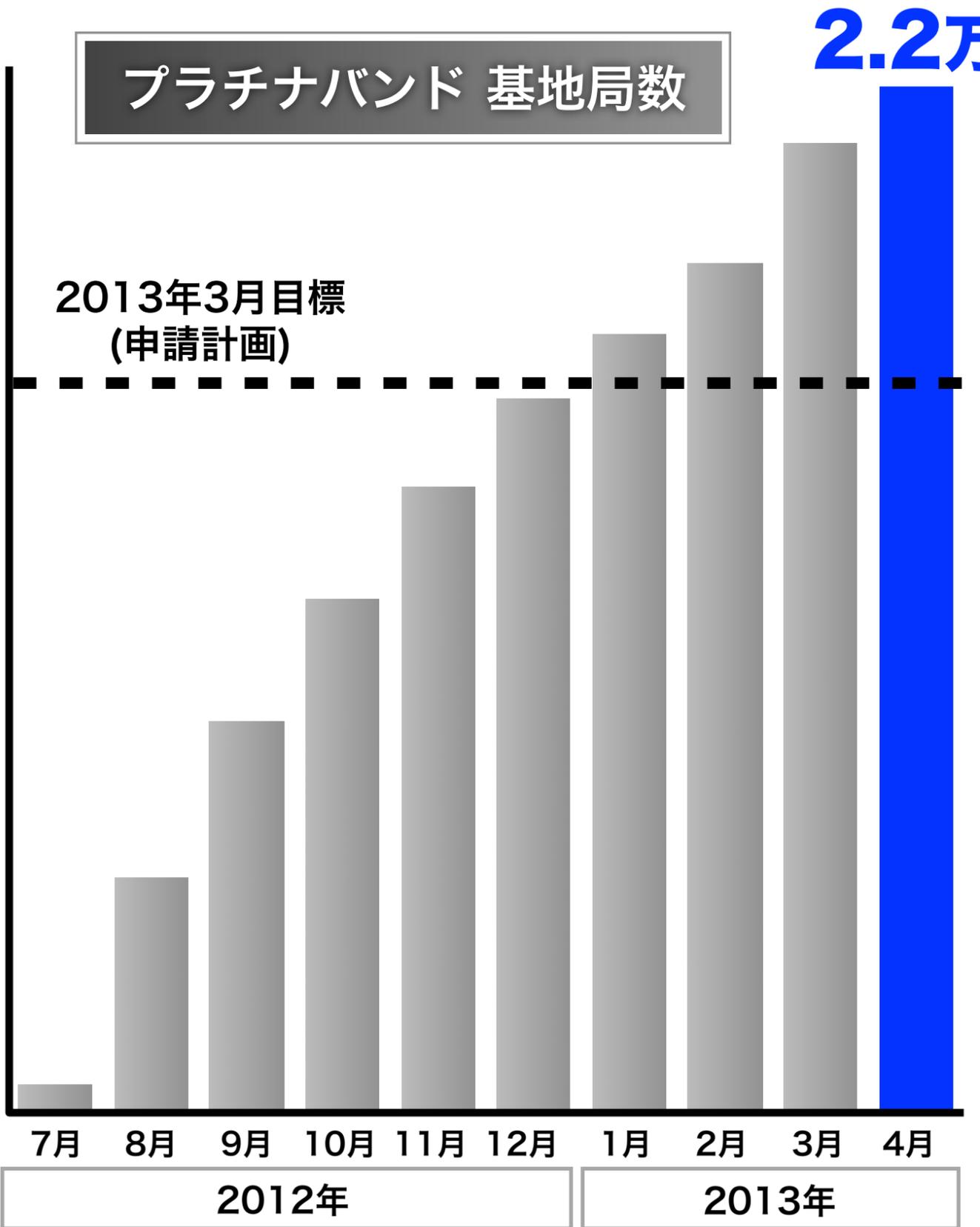
つながりやすさNo.1へ

プラチナバンド 基地局数

2.2万局

2013年3月目標
(申請計画)

1.6万局

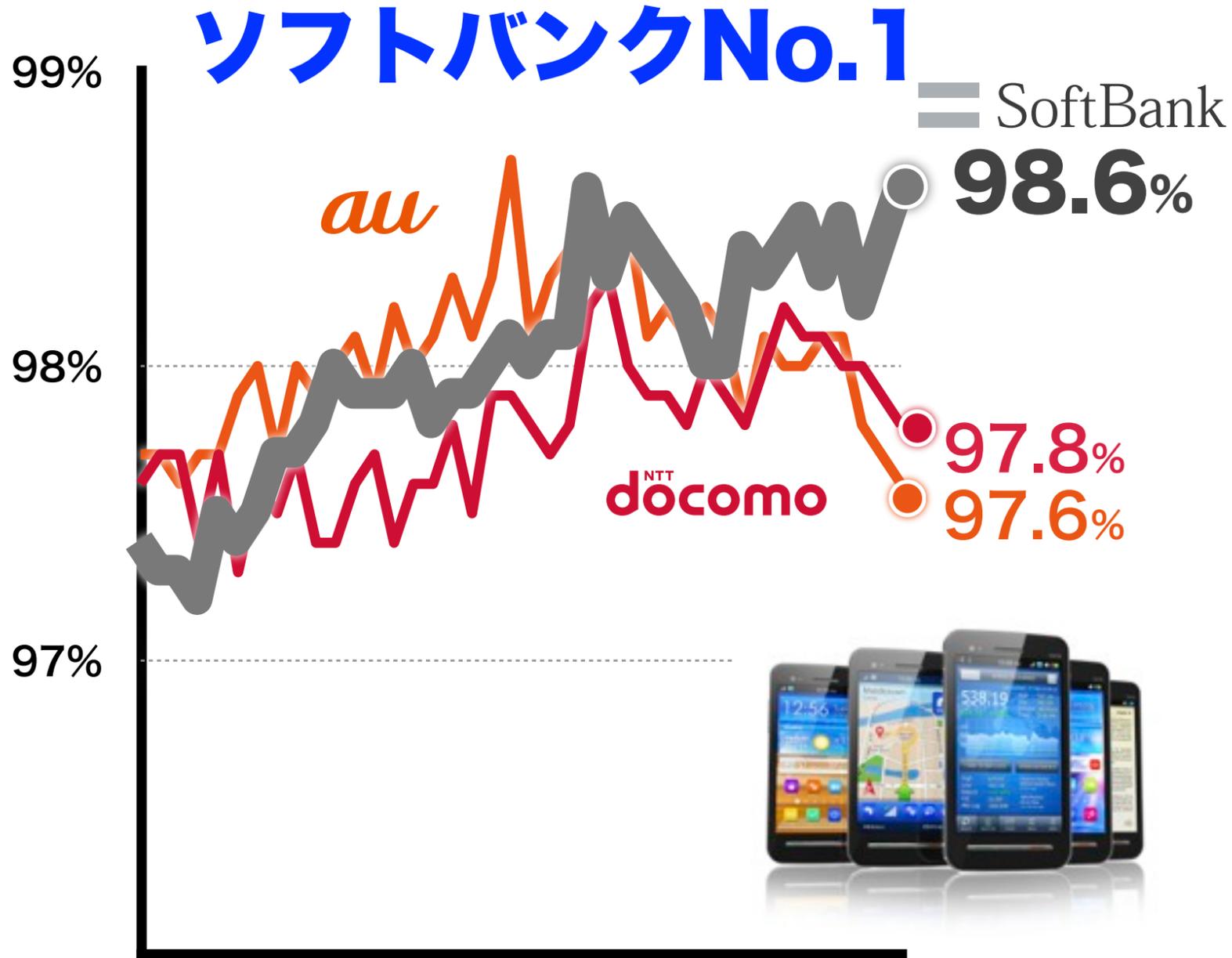


前倒しで
大幅達成



音声接続率 (全国)

全スマホ



2012年7月24日

2013年4月23日

iPhone 5のみ



2012年11月6日

2013年4月23日

※イプソス株式会社による全国調査。

左図：スマホ利用モニタ14,100人に発信し接続率を測定。(ソフトバンク:約5,700人 NTTドコモ:約4,000人 au:約4,400人)

右図：iPhone 5 利用モニタ7,000人に発信し接続率を測定。(ソフトバンク:4,300人 他社:2,700人)。

パケット接続率 (全国)

プラチナバンド対応スマホ

iPhone 5のみ

ソフトバンクNo.1

ソフトバンクNo.1

SoftBank



2013年2月10日

4月28日

2013年2月10日

4月28日

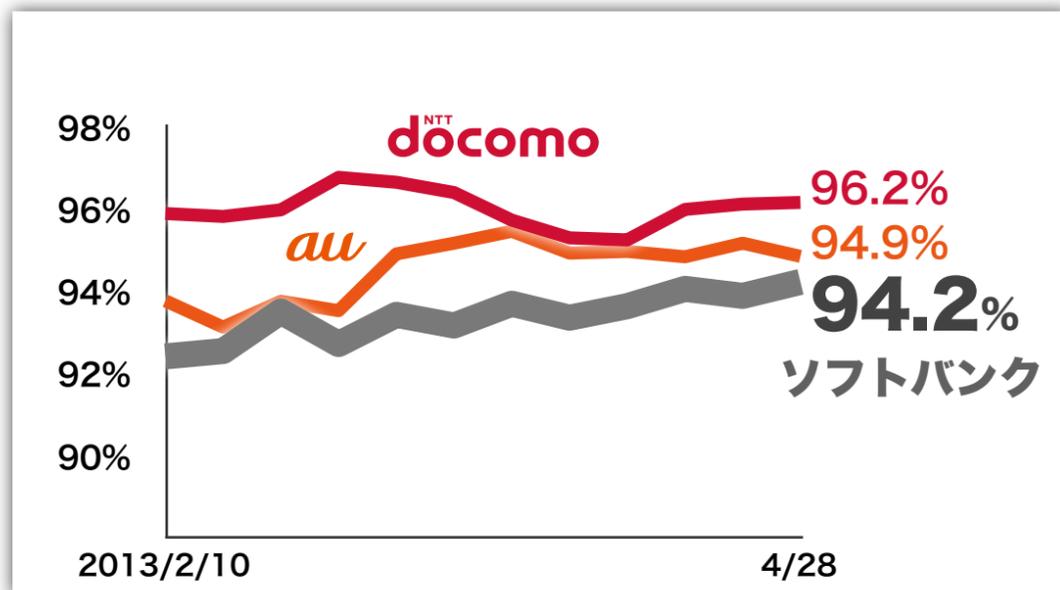
※統計分析処理：株式会社Agoop プラチナバンド対応スマホのパケット接続率：防災速報(ヤフー)とラーメンチェッカー(Agoop)を利用の各社プラチナバンド対応スマホ計108,000台(ソフトバンク:36,000台、NTTドコモ:36,000台、au:36,000台を無作為抽出)のデータを個別に分析
 iPhone 5のパケット接続率：防災速報(ヤフー)とラーメンチェッカー(Agoop)を利用の各社iPhone 5 計30,000台(各社15,000台を無作為抽出)のデータを個別に分析

パケット接続率 (ランドマーク別)

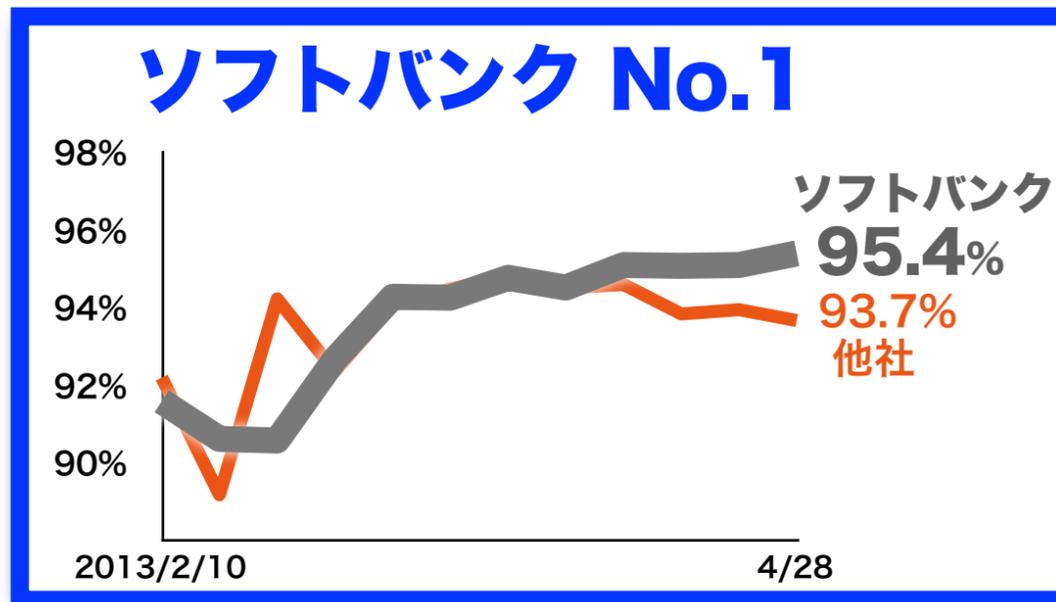
プラチナバンド対応スマホ

iPhone 5のみ

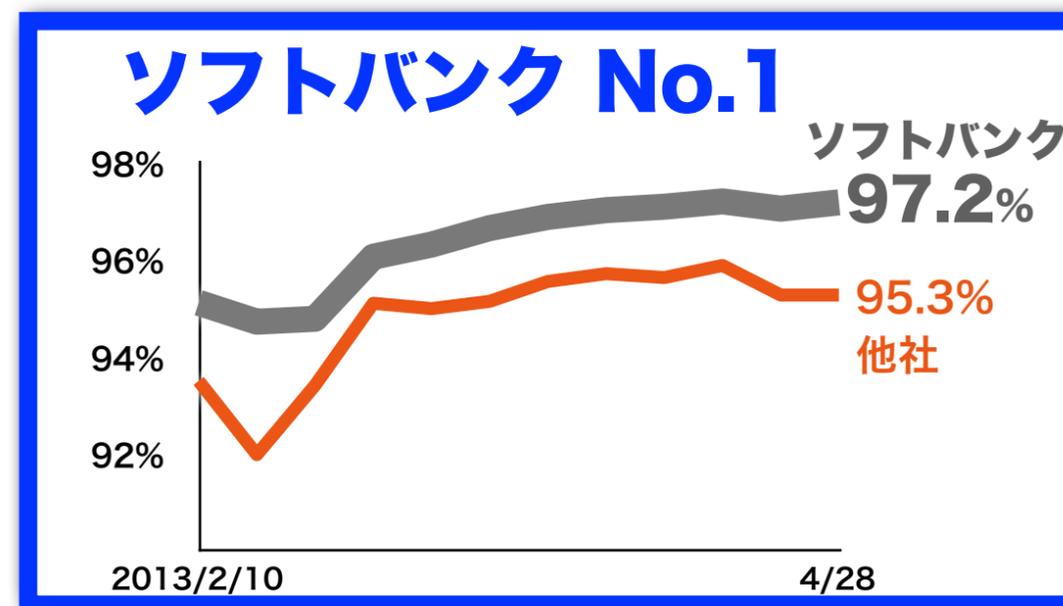
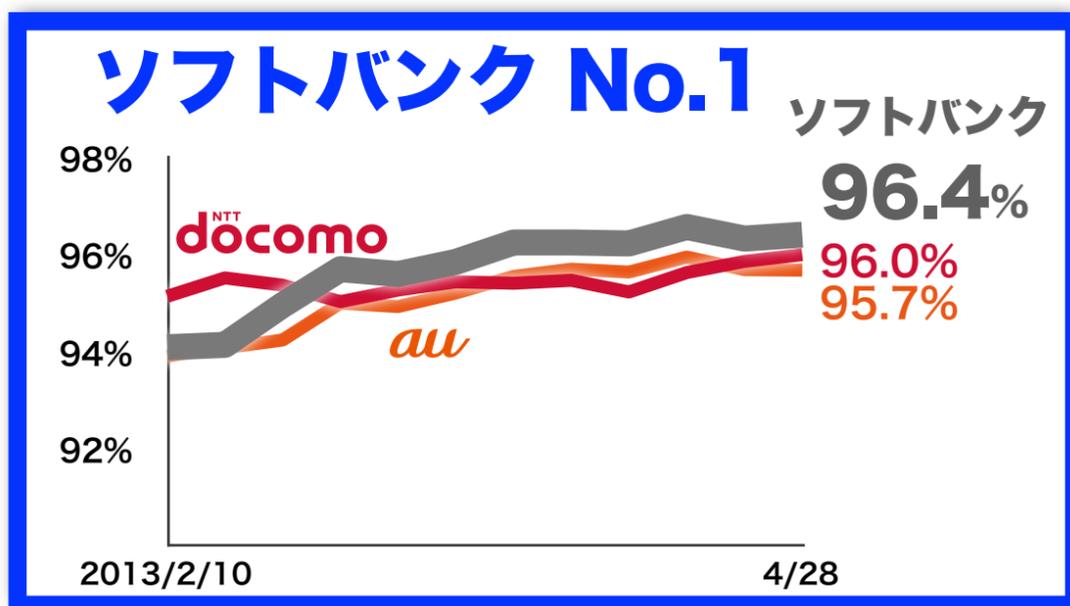
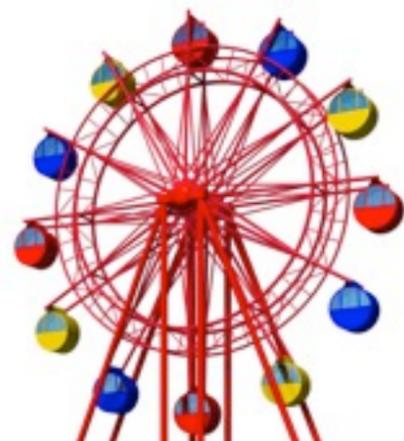
ゴルフ場



ソフトバンク No.1



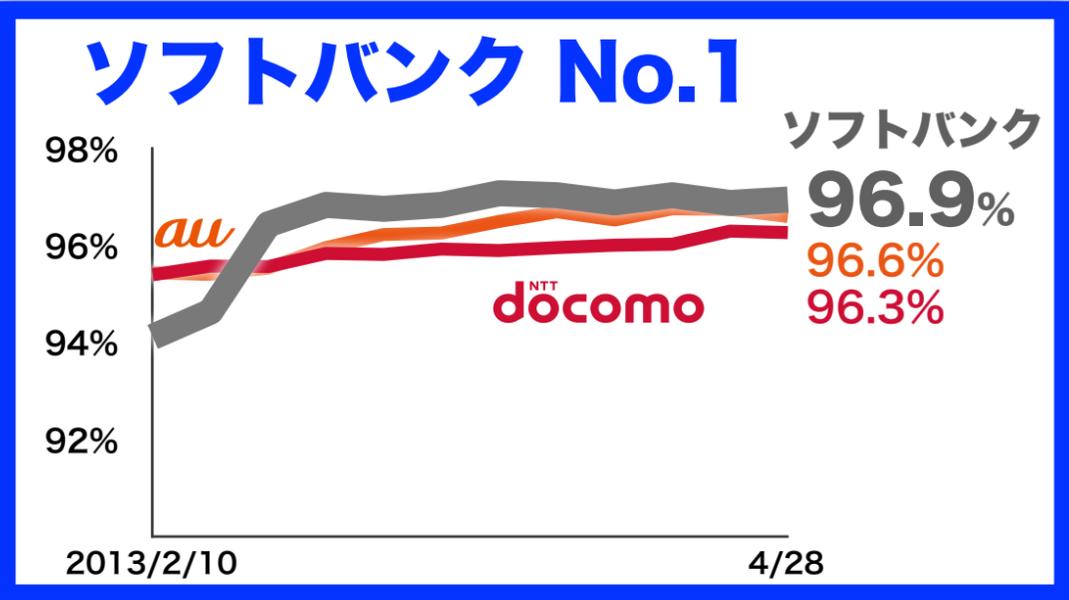
レジャー施設



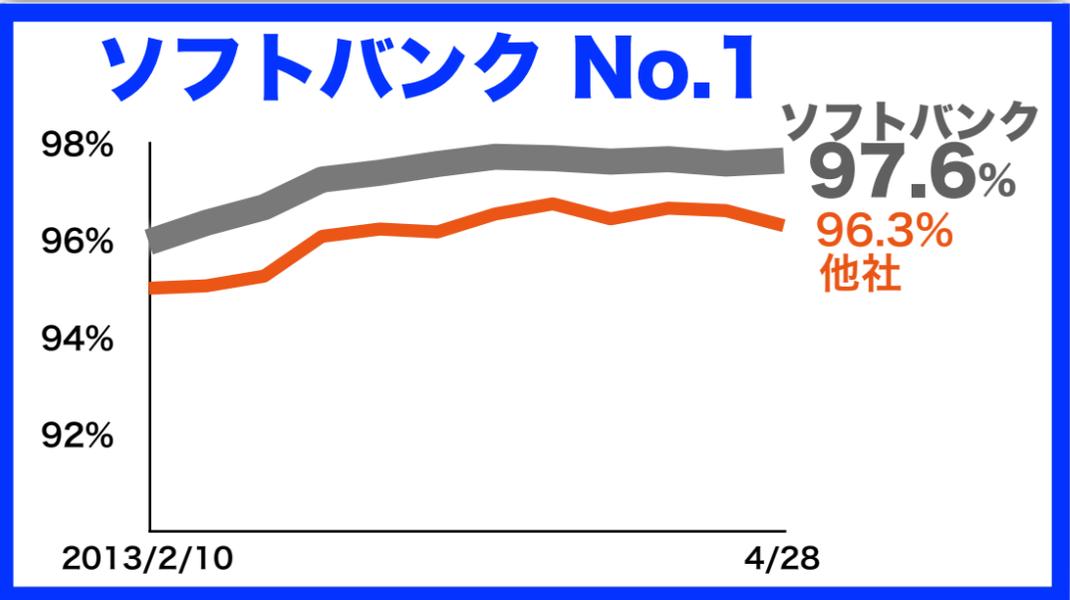
パケット接続率 (ランドマーク別)

プラチナバンド対応スマホ

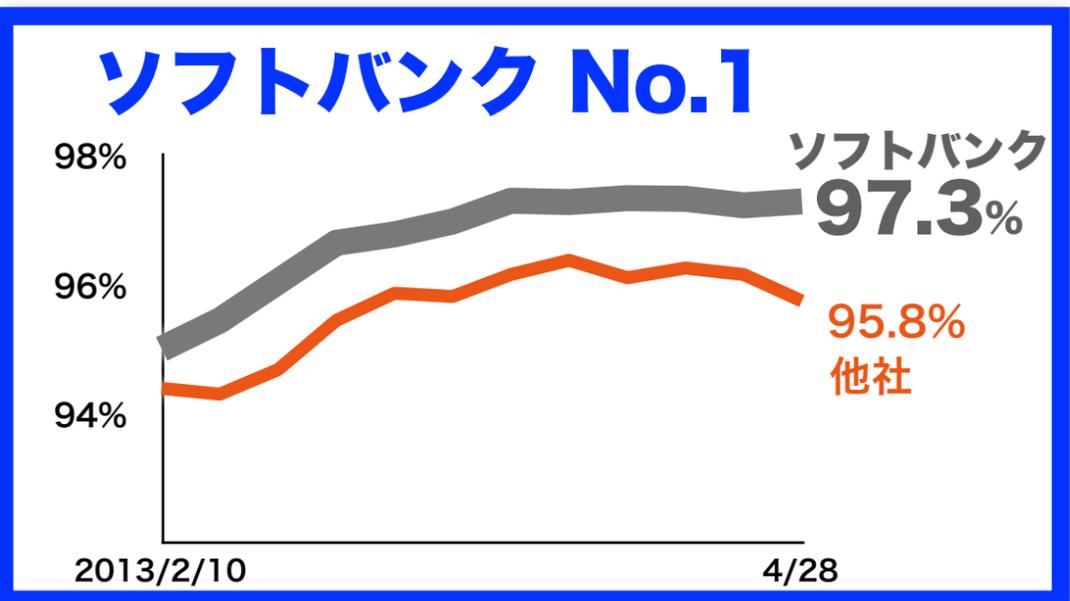
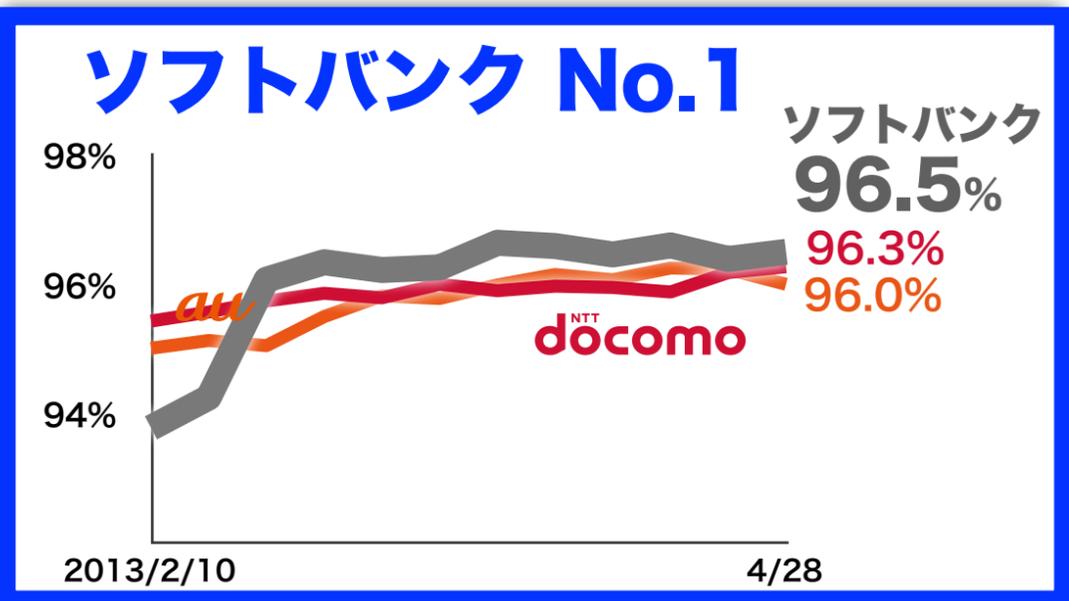
ファーストフード・ファミレス



iPhone 5のみ



ショッピングモール・百貨店

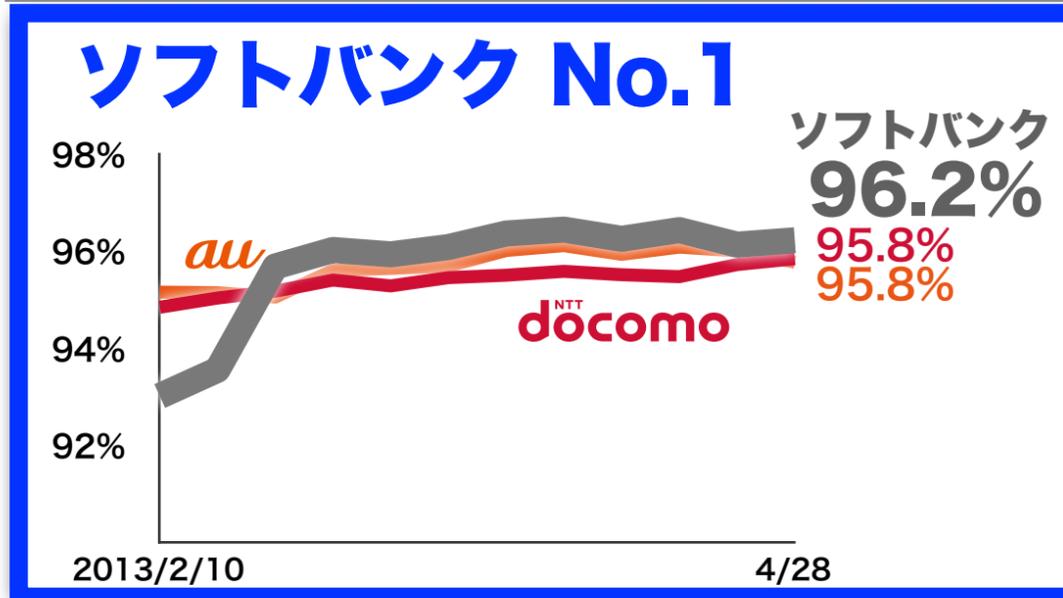


パケット接続率 (ランドマーク別)

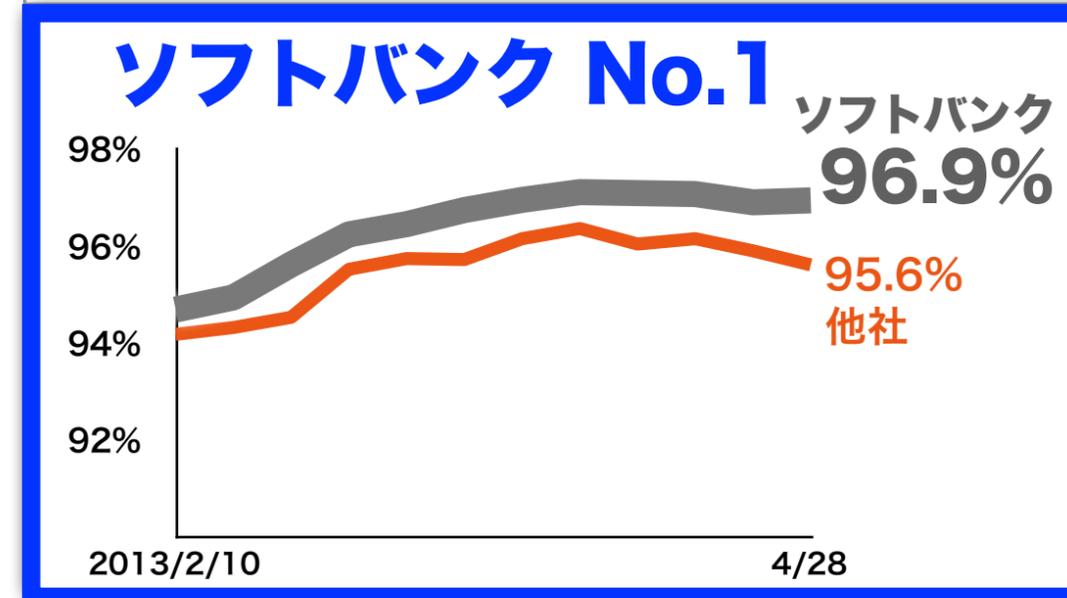
1,000駅



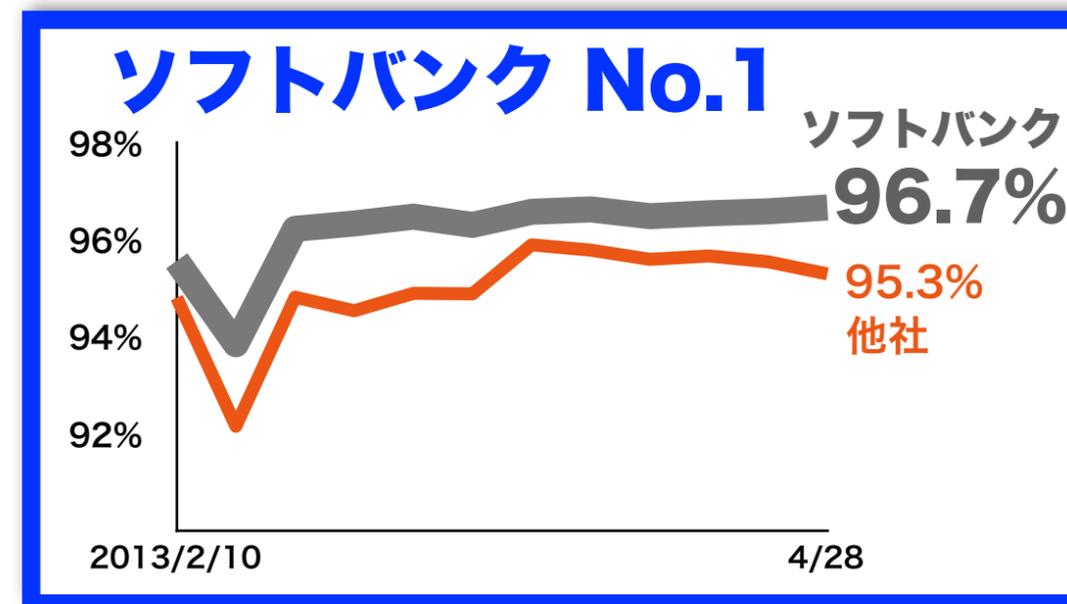
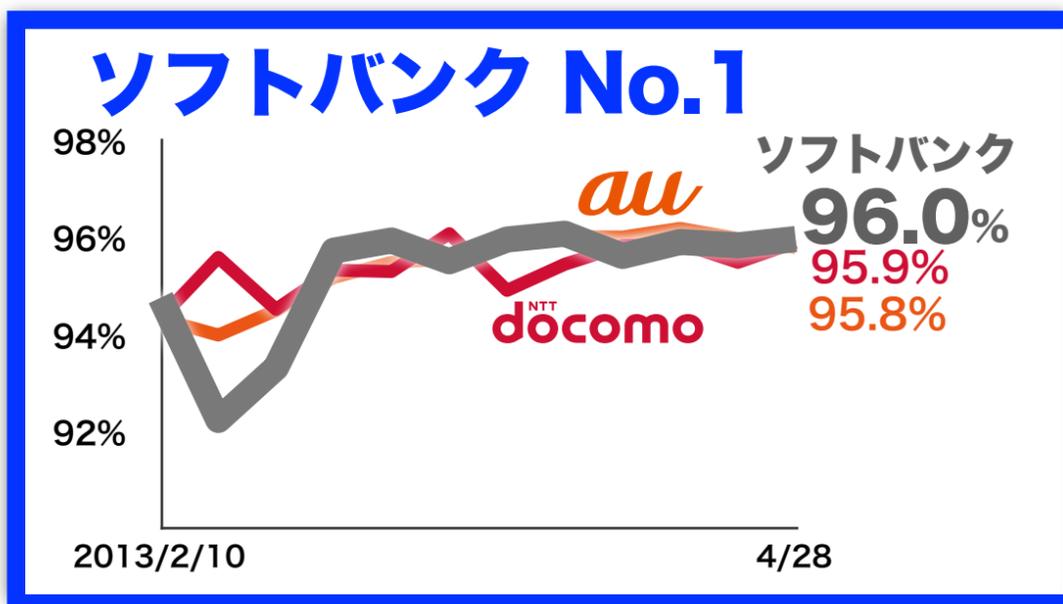
プラチナバンド対応スマホ



iPhone 5のみ



大学



パケット接続率 (ランドマーク別)

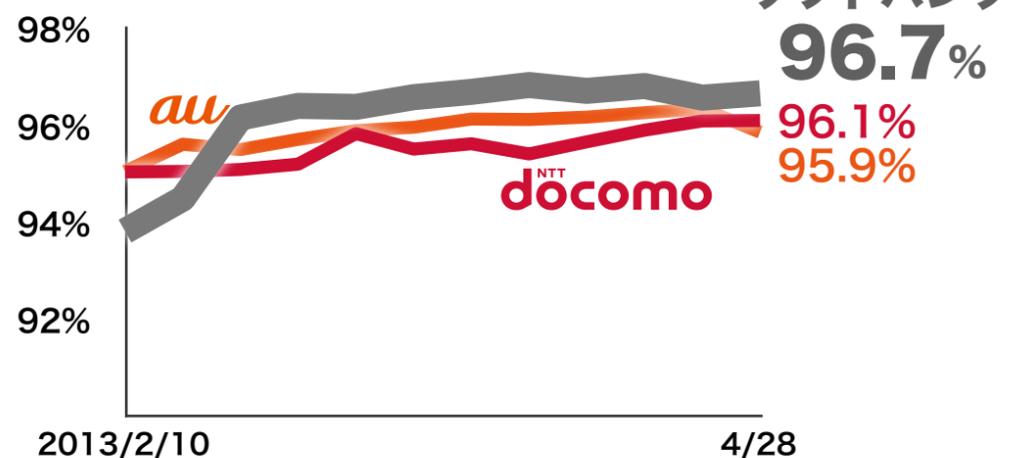
プラチナバンド対応スマホ

iPhone 5のみ

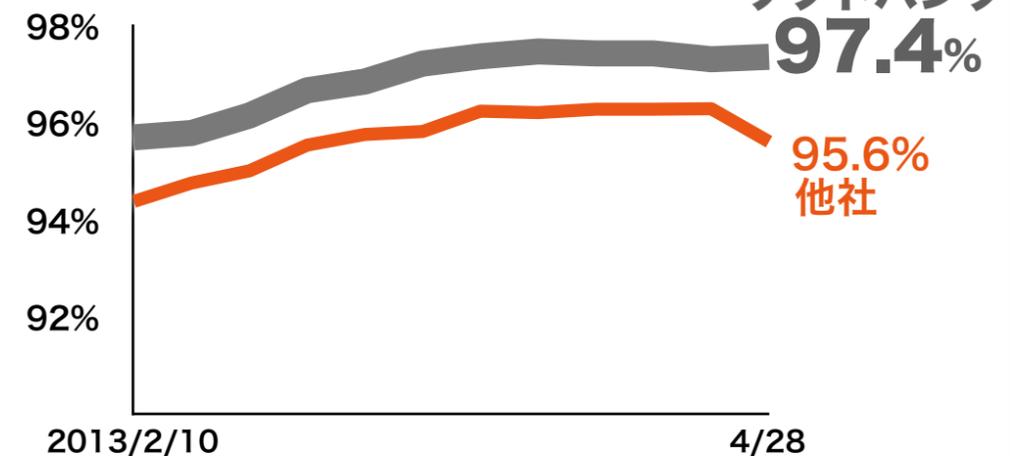
家電量販店



ソフトバンク No.1



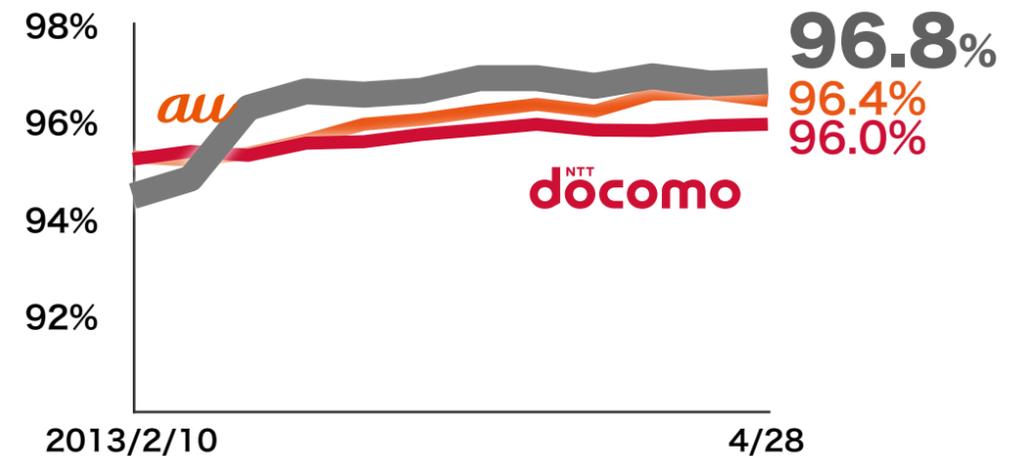
ソフトバンク No.1



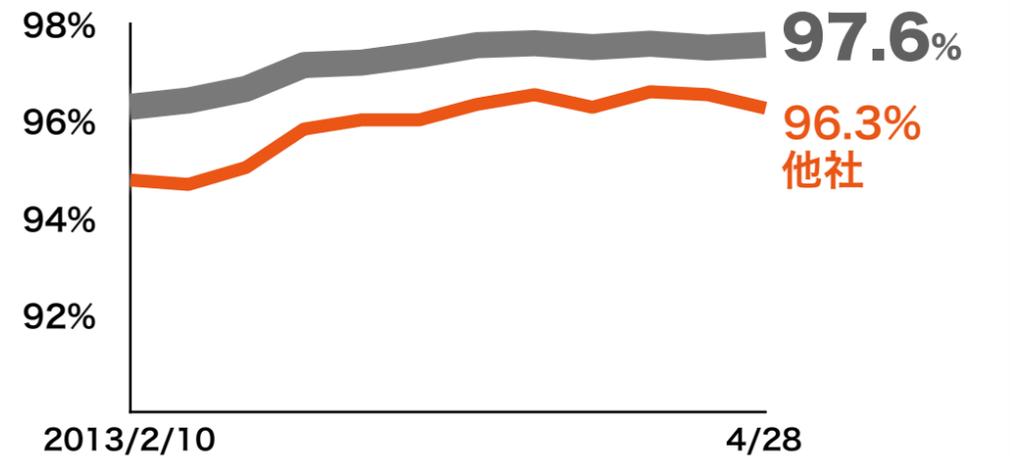
コンビニ



ソフトバンク No.1



ソフトバンク No.1

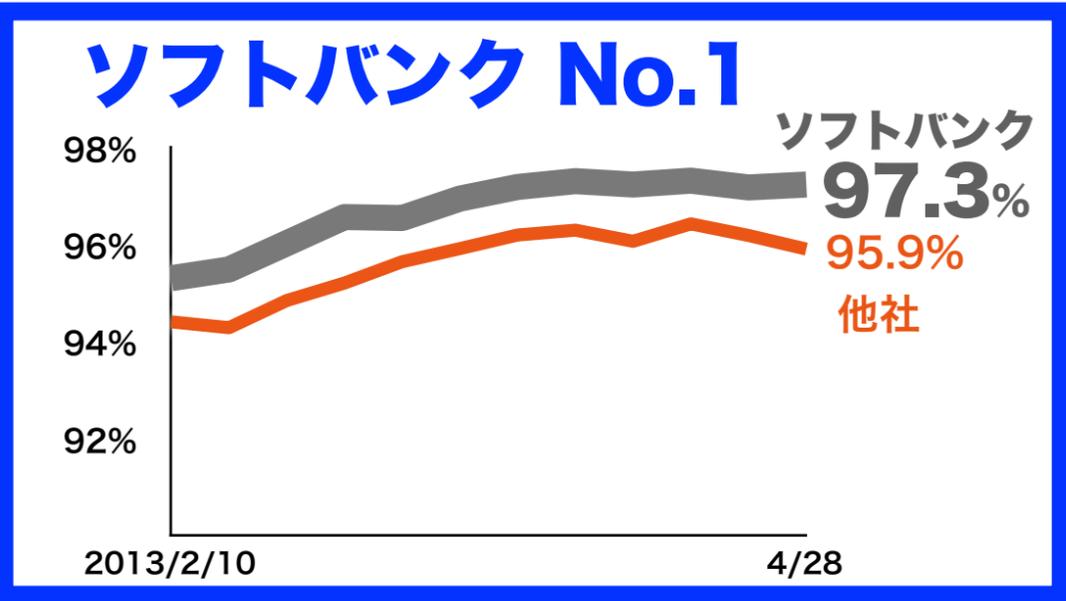
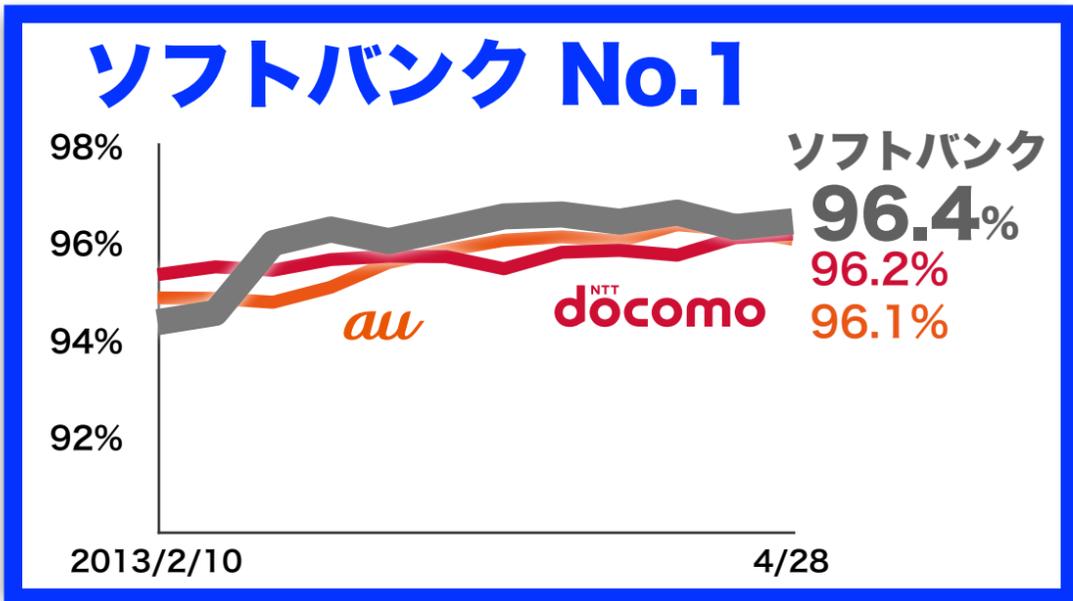


パケット接続率 (ランドマーク別)

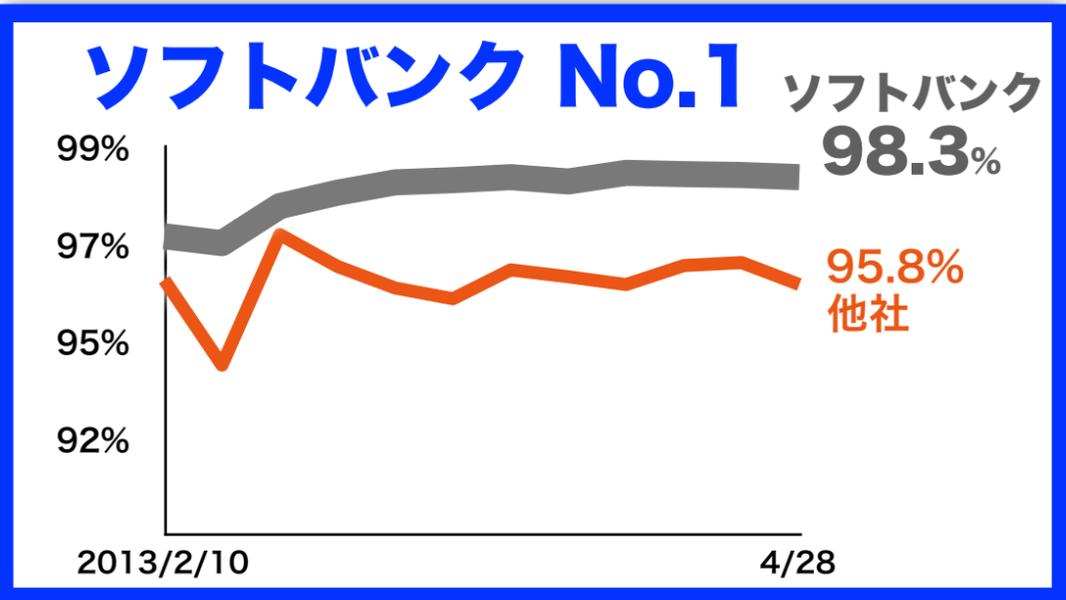
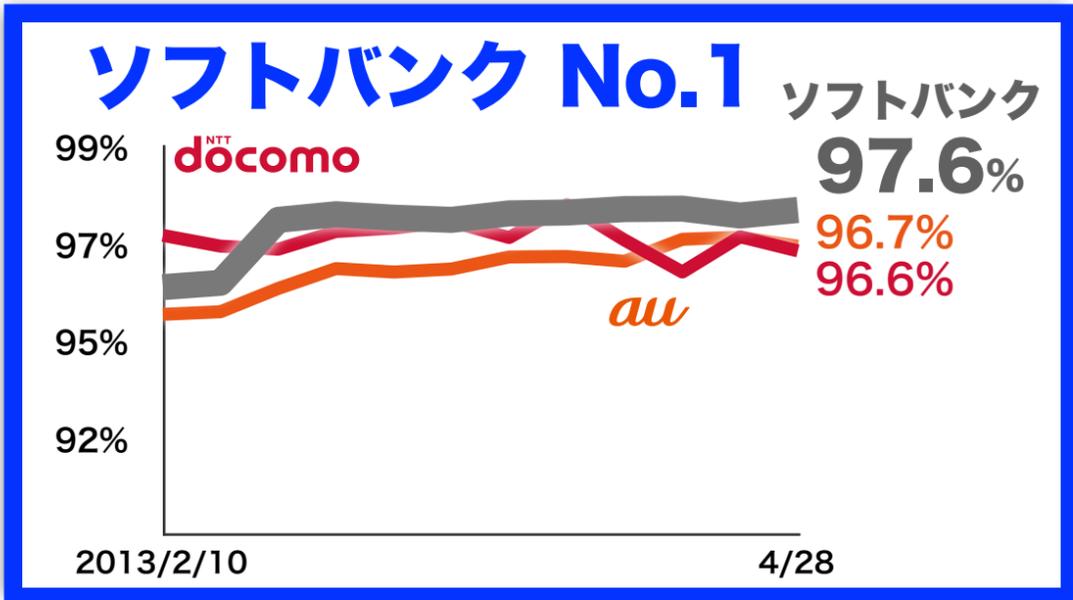
プラチナバンド対応スマホ

iPhone 5のみ

ホテル・旅館



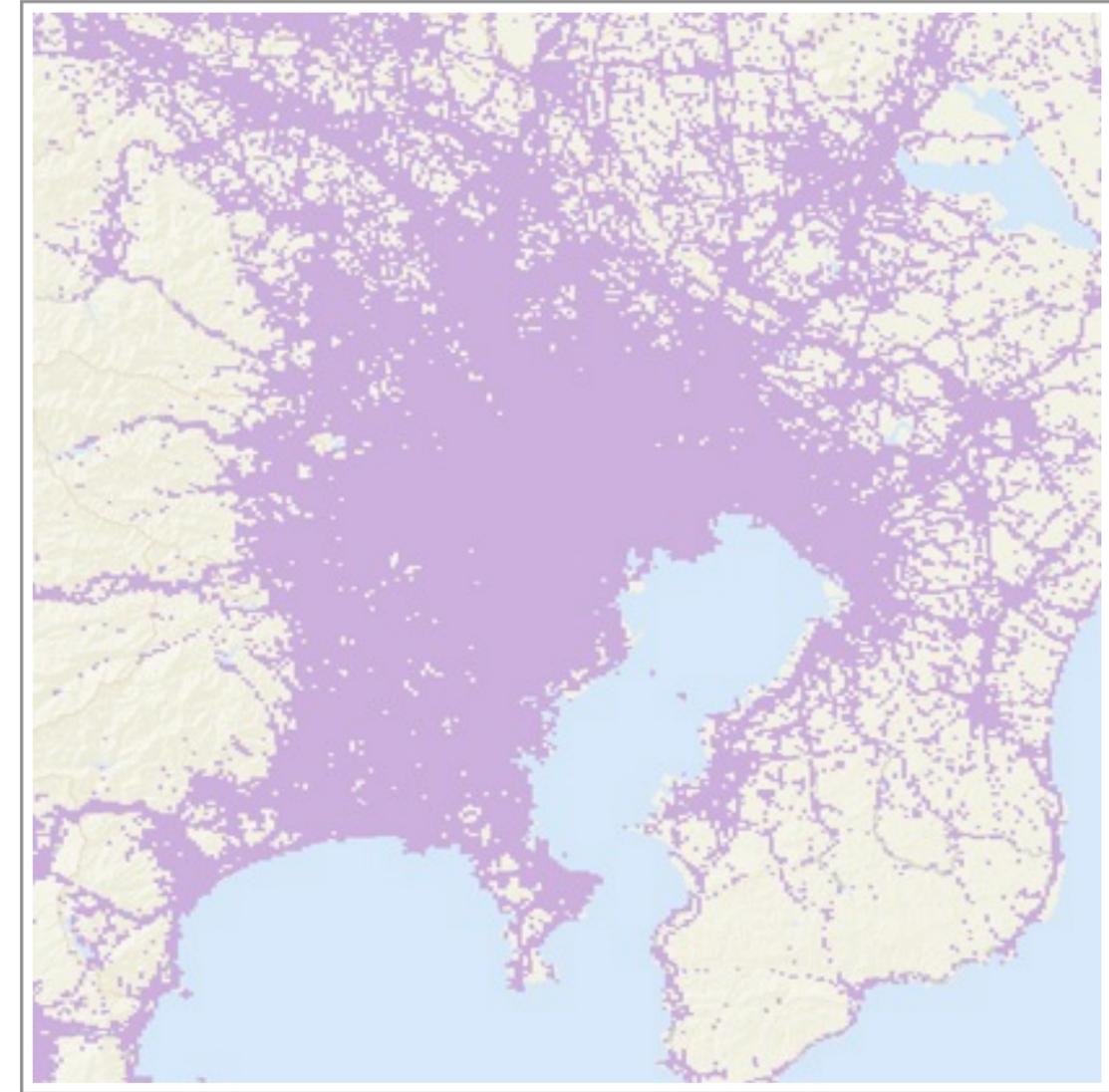
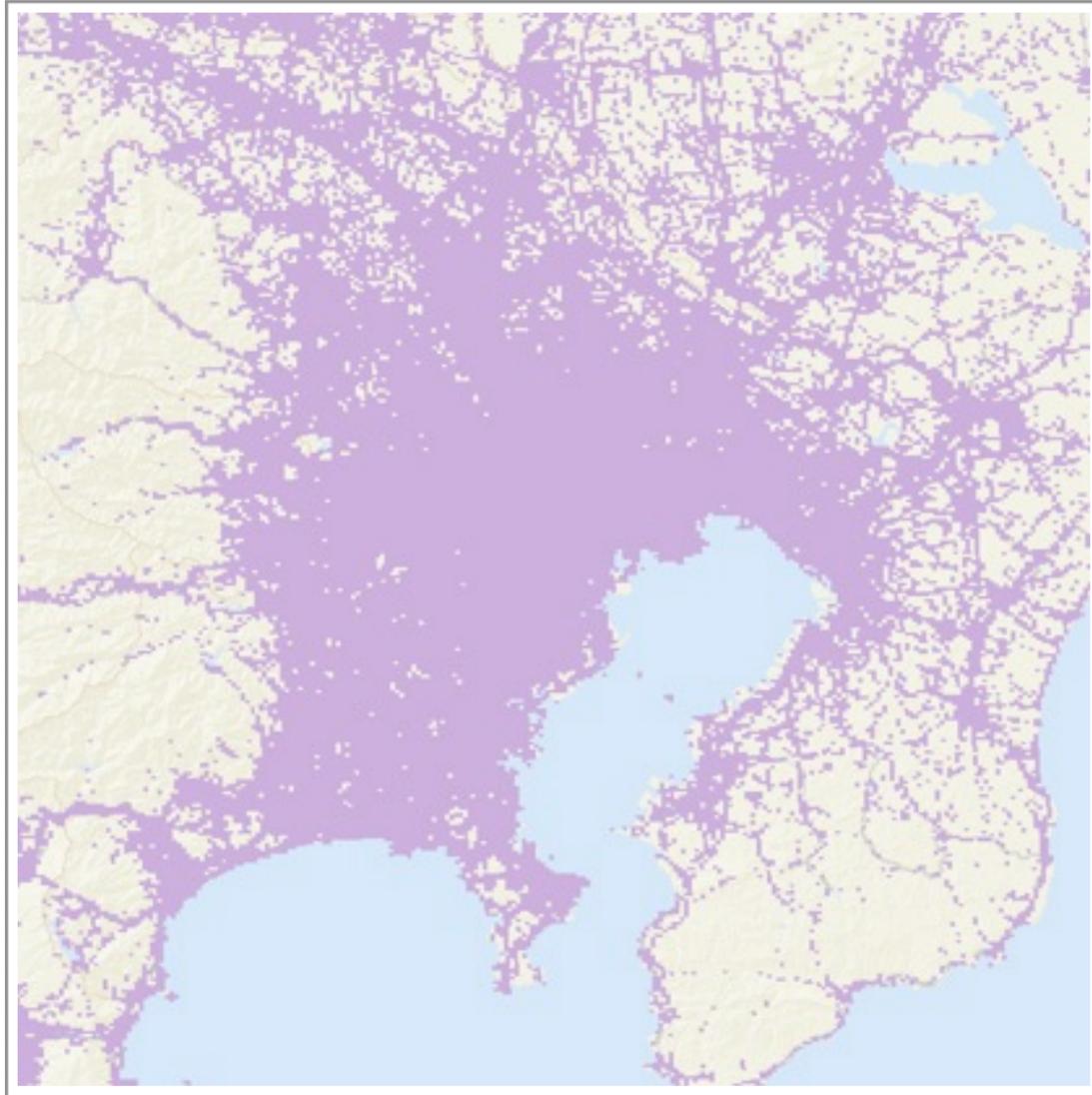
高速道路
サービスエリア



iPhone 5 LTEエリア比較 (関東)

SoftBank

他社

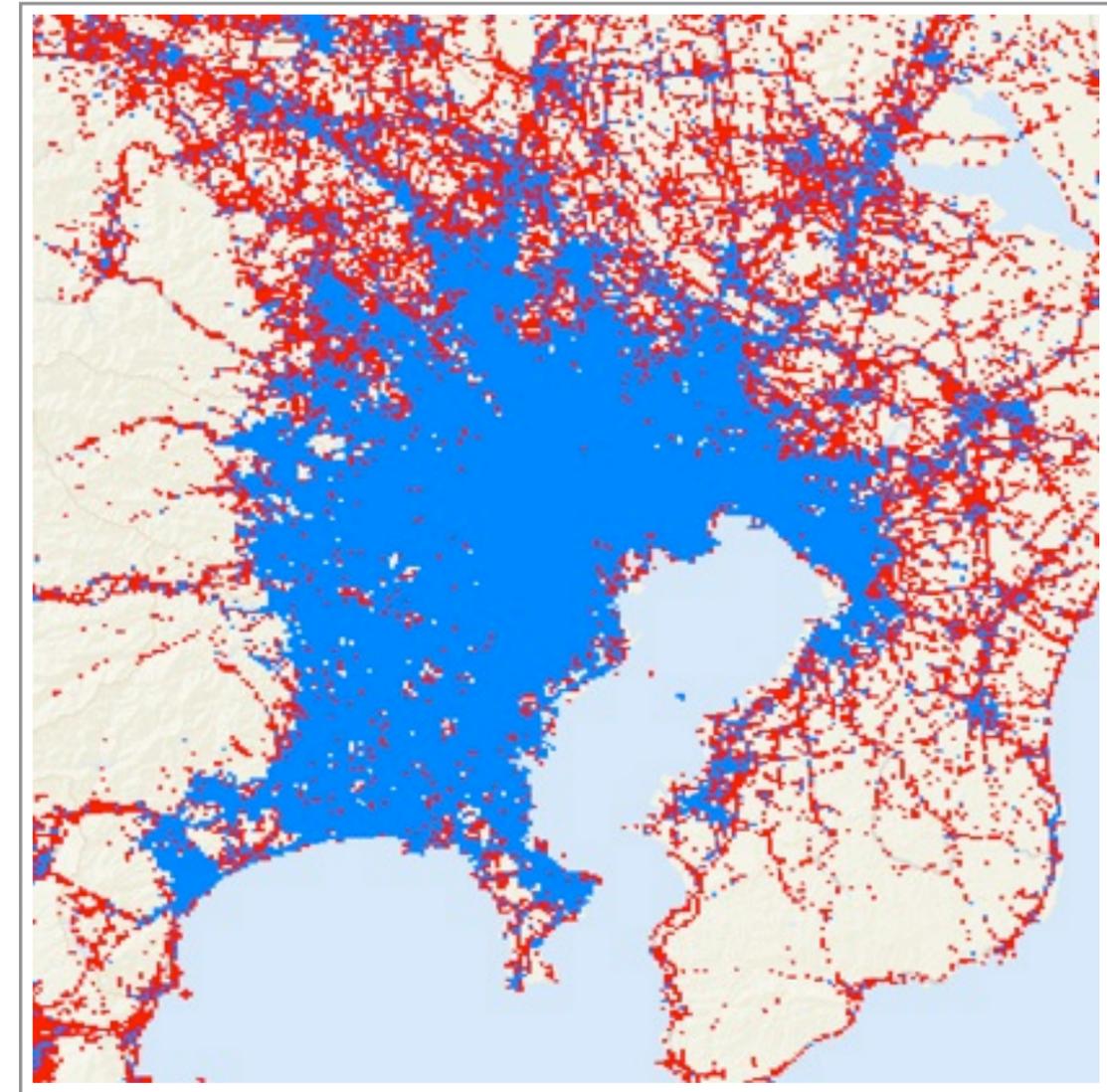
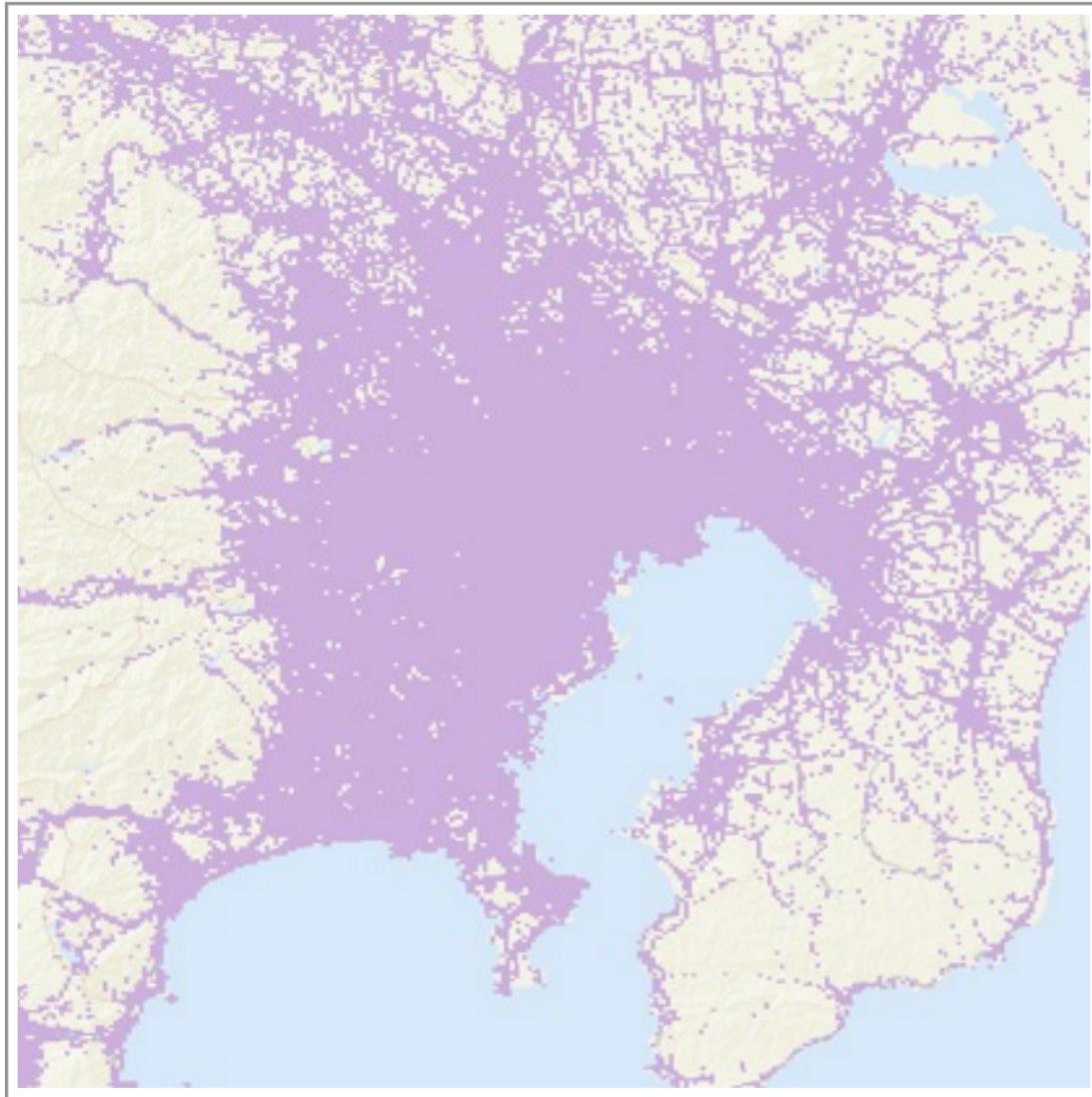


3G または LTEで通信可能なエリア

iPhone 5 LTEエリア比較 (関東)

SoftBank

他社



3G または LTEで通信可能なエリア

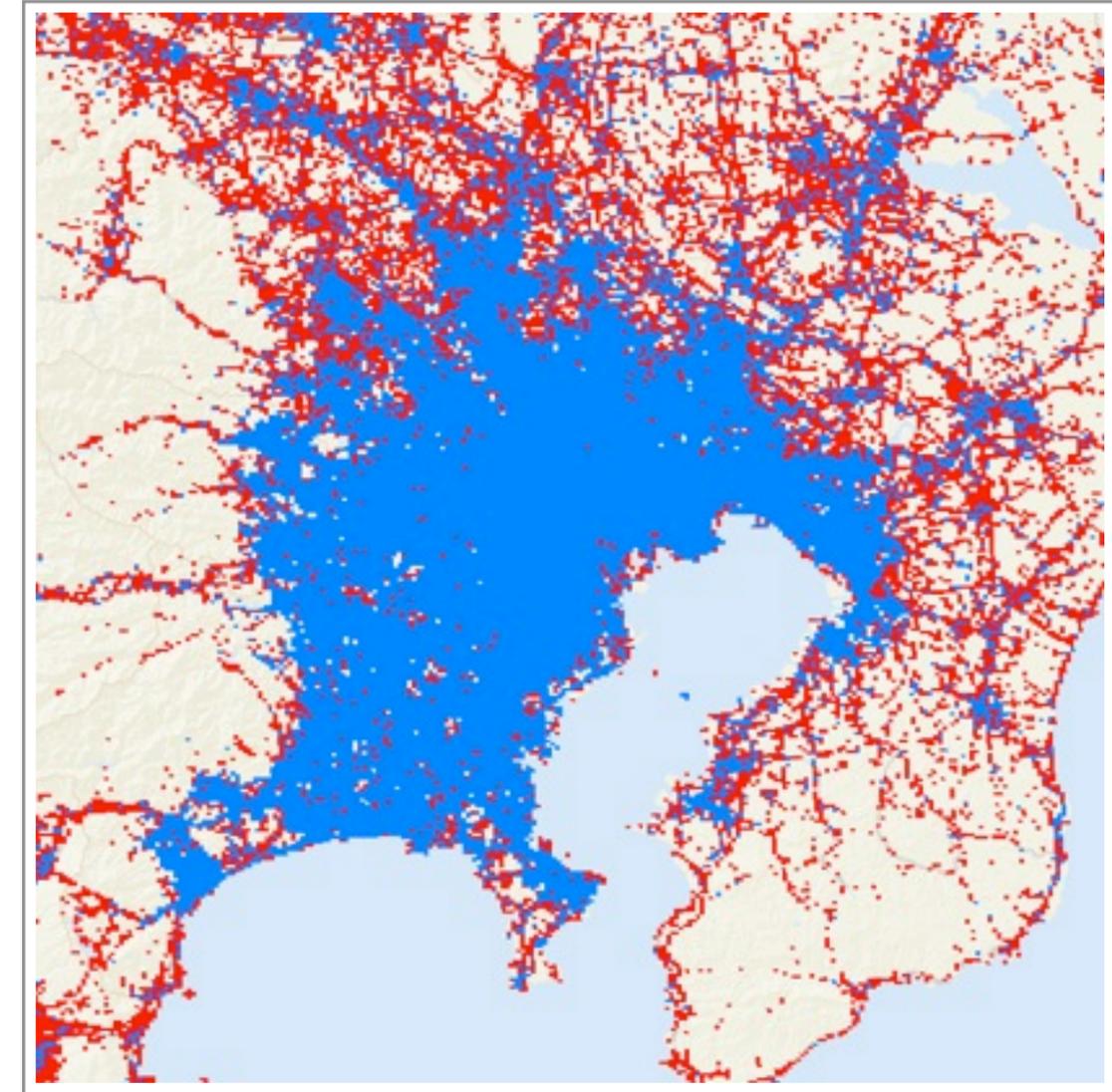
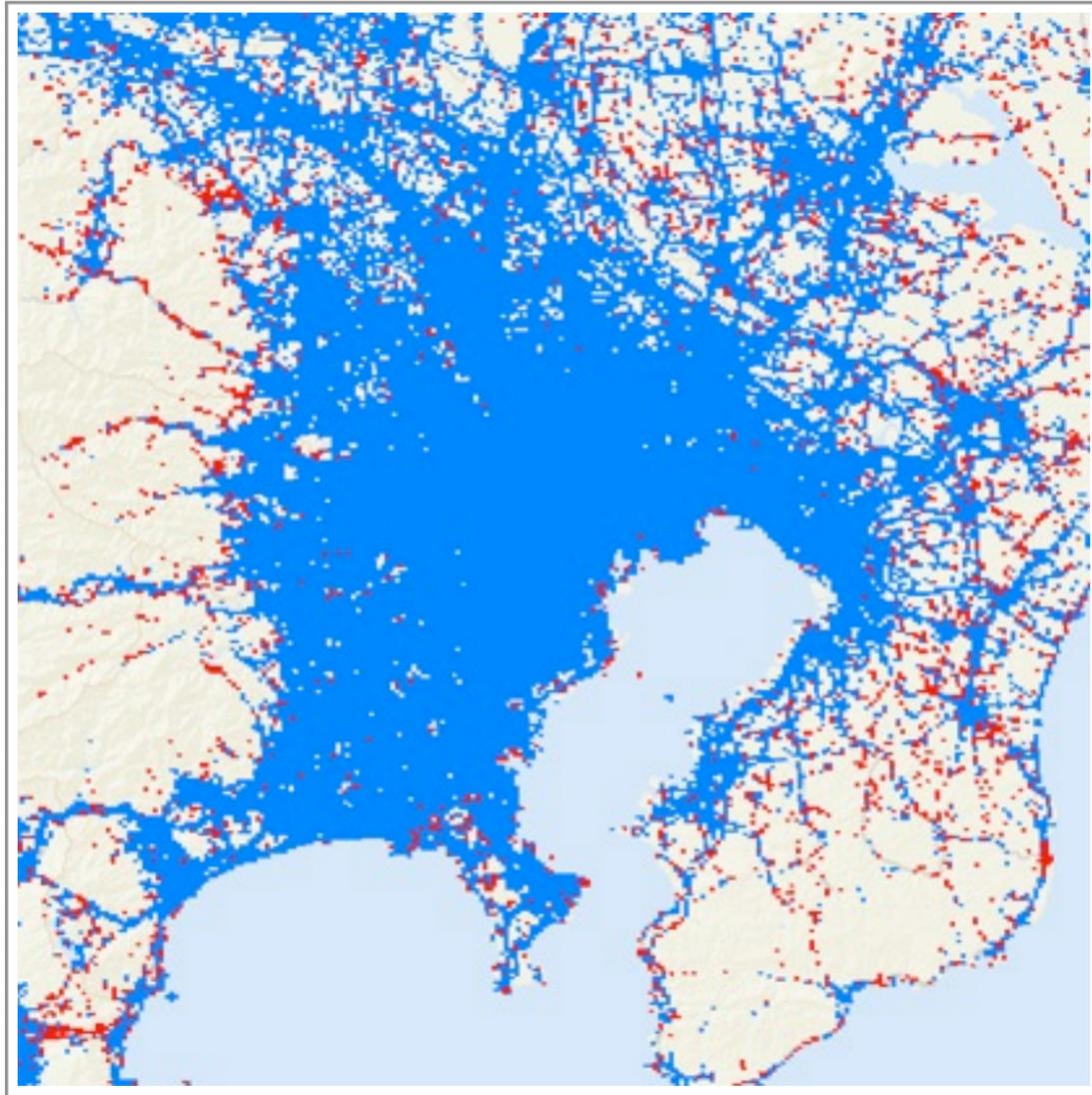
LTEエリア 3Gエリア

※通信を始めてから、ダウンロード開始までの時間が0.1秒未満のログをLTE相当と定義
(調査期間：2013/2/10～4/24)

iPhone 5 LTEエリア比較 (関東)

SoftBank

他社



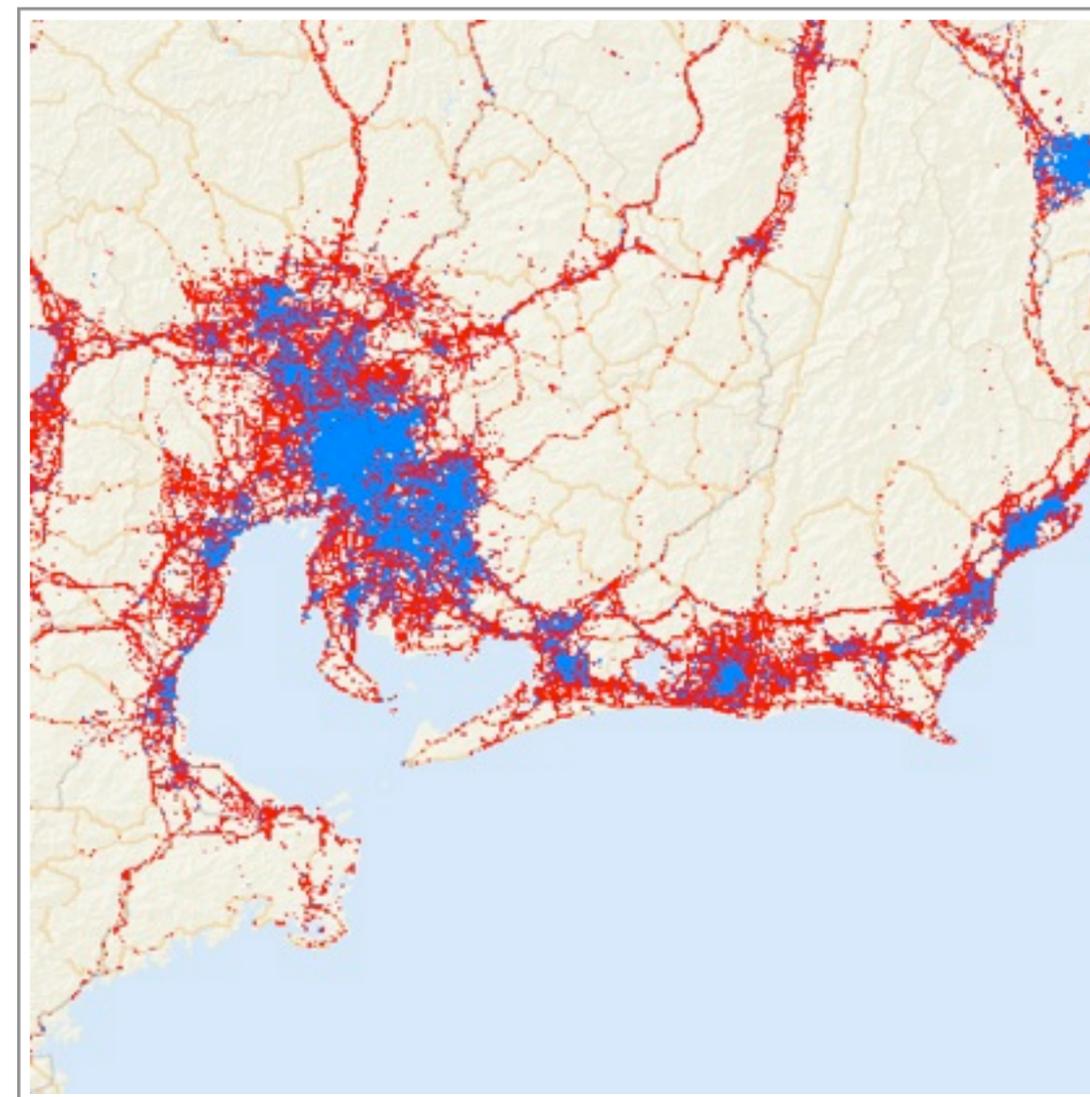
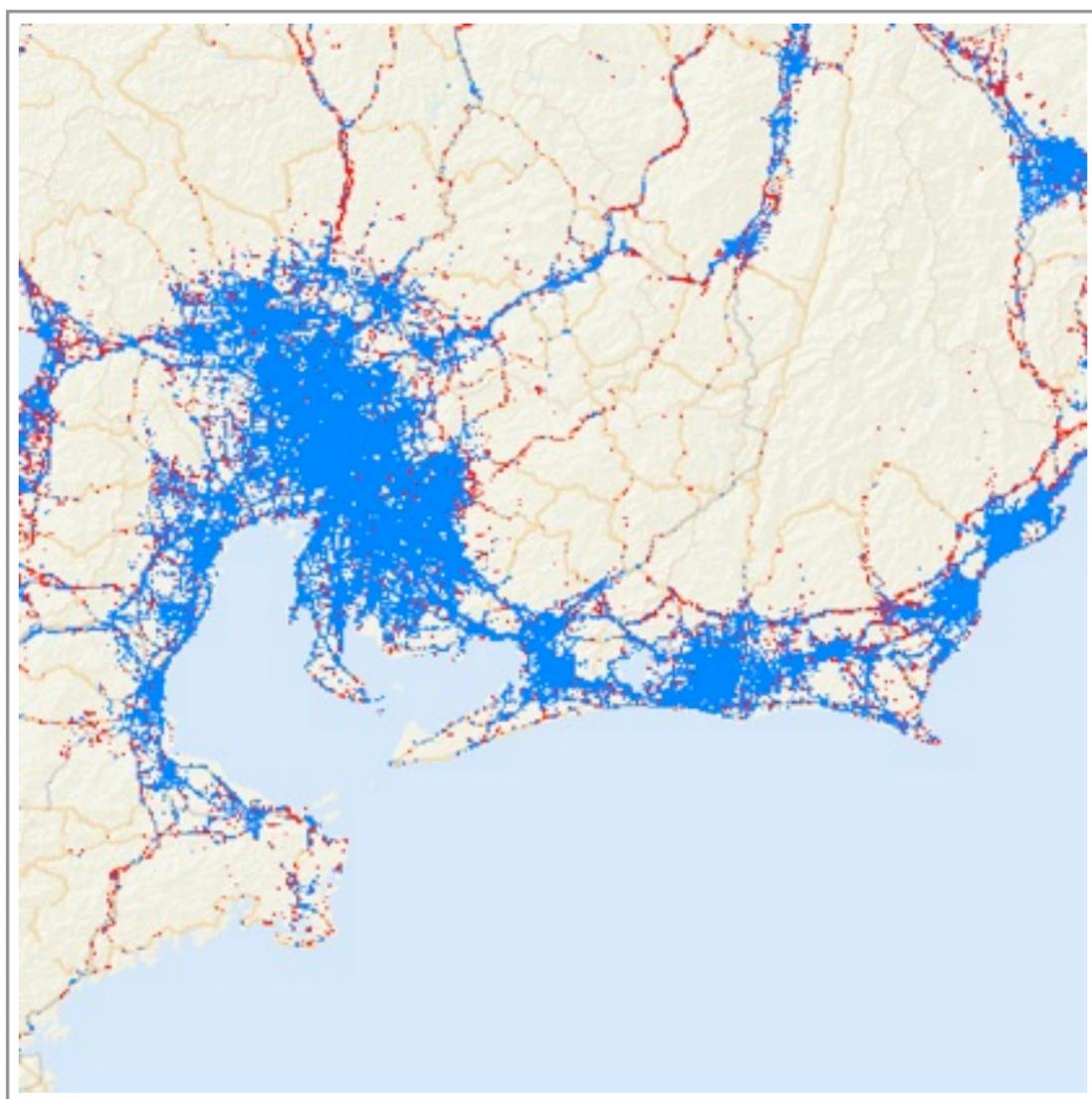
■ LTEエリア ■ 3Gエリア

※通信を始めてから、ダウンロード開始までの時間が0.1秒未満のログをLTE相当と定義
(調査期間：2013/2/10～4/24)

iPhone 5 LTEエリア比較 (東海)

SoftBank

他社



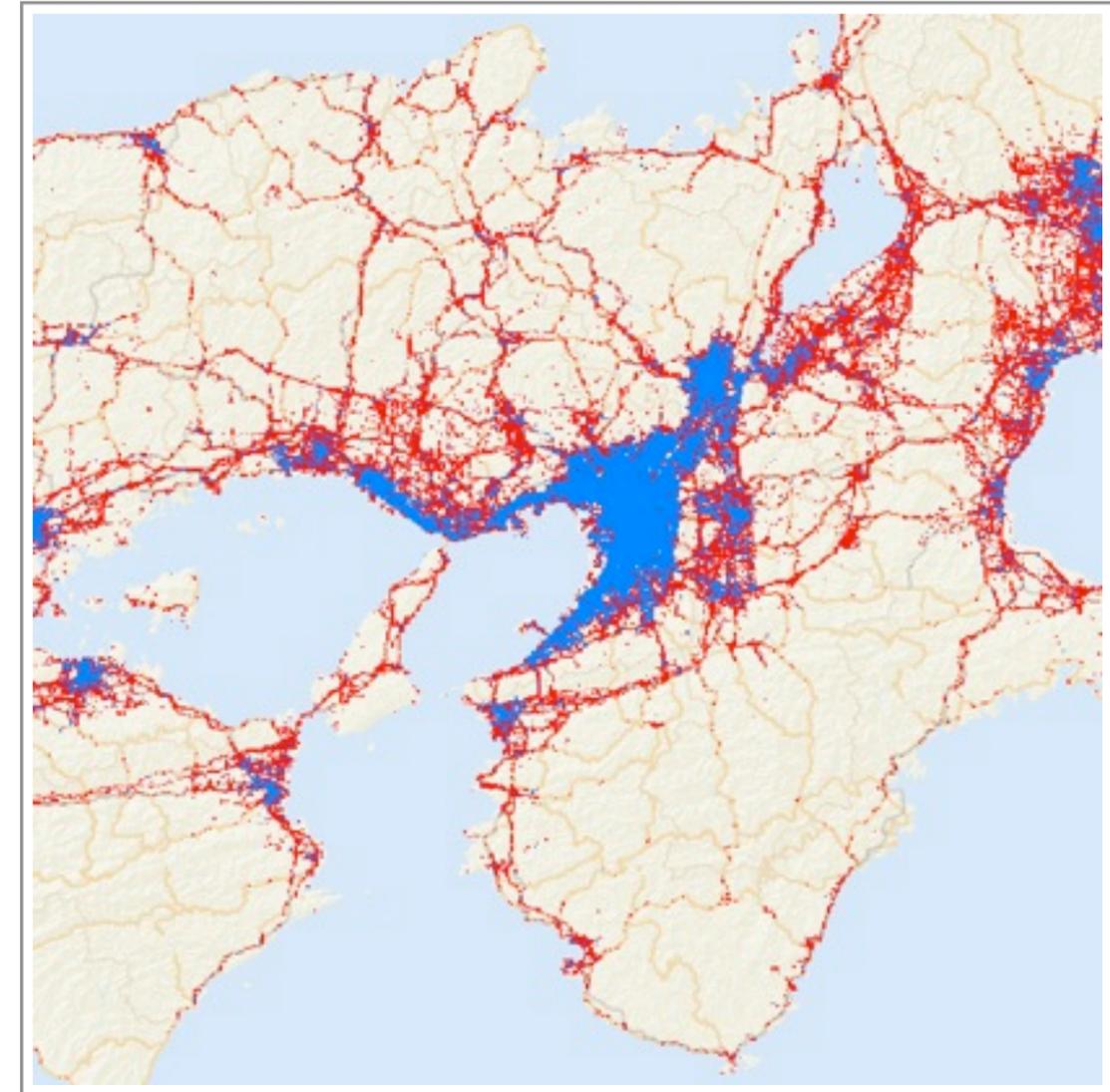
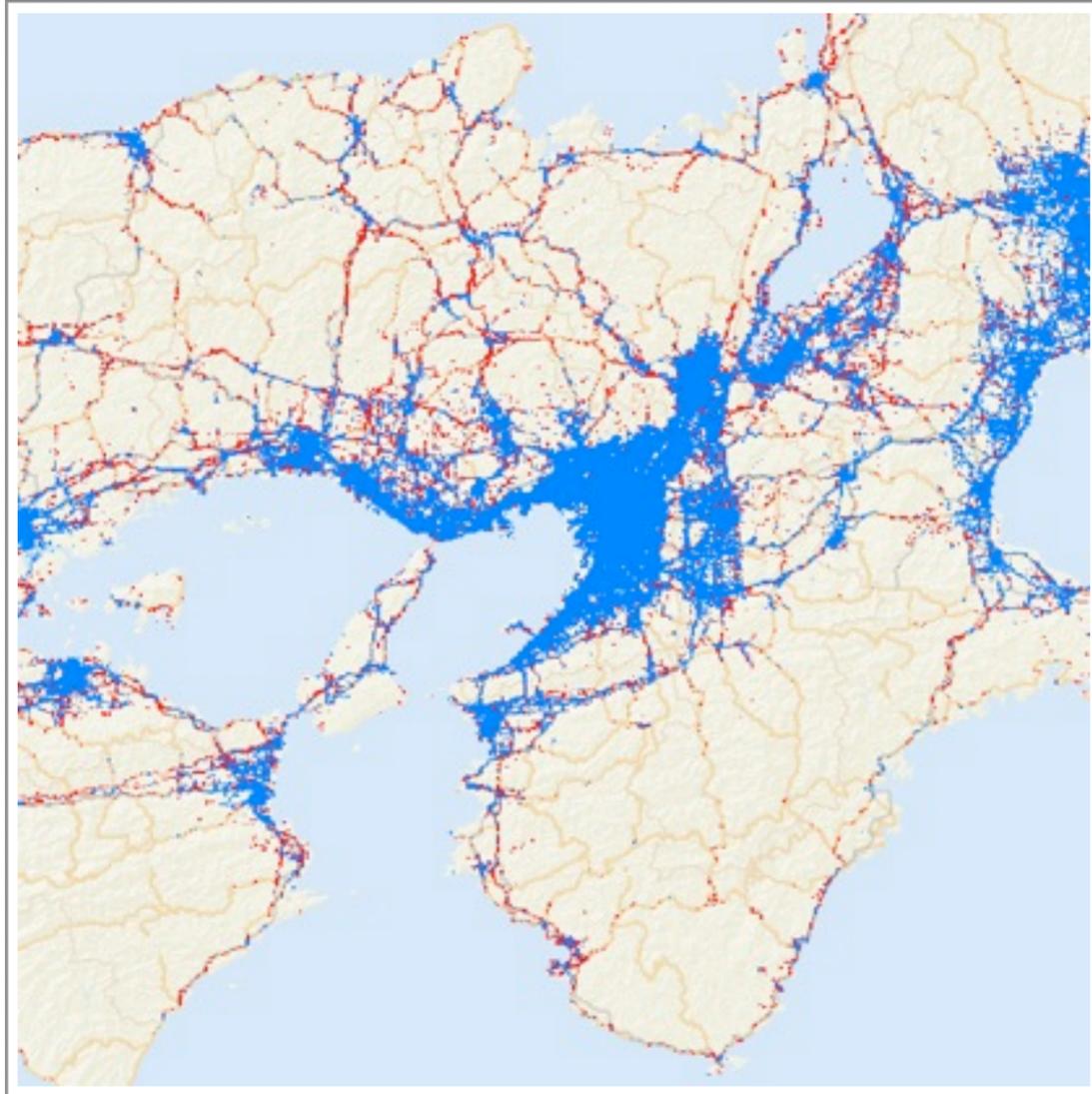
■ LTEエリア ■ 3Gエリア

※通信を始めてから、ダウンロード開始までの時間が0.1秒未満のログをLTE相当と定義
(調査期間：2013/2/10～4/24)

iPhone 5 LTEエリア比較 (関西)

SoftBank

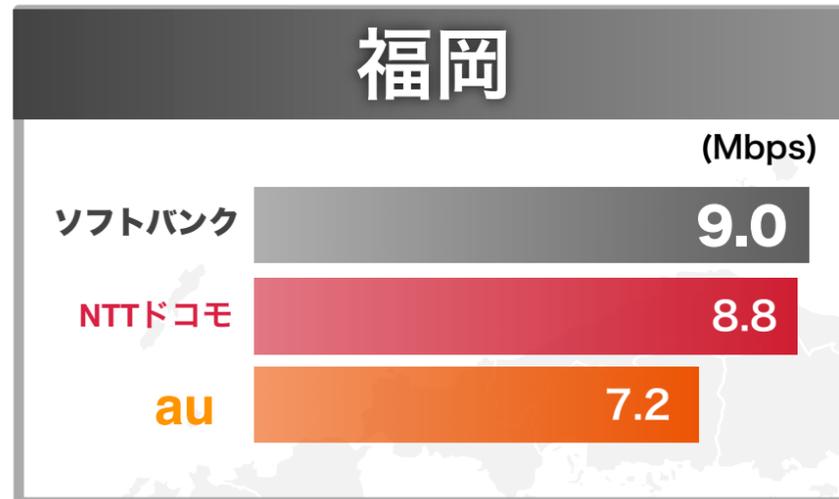
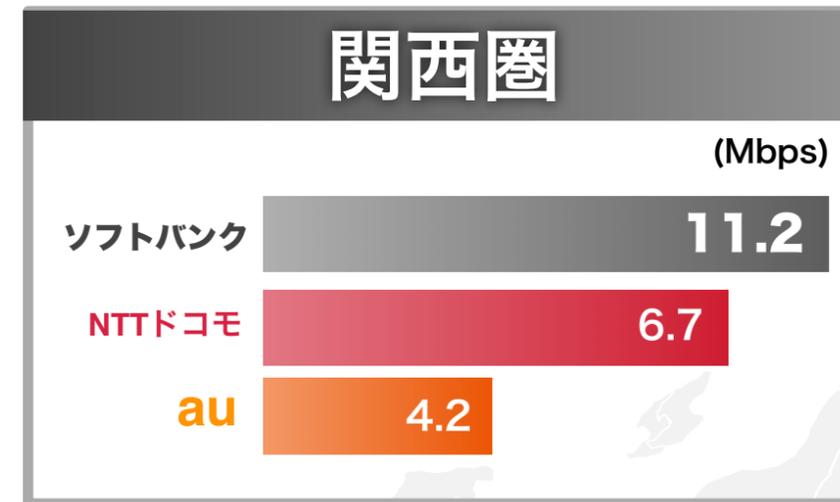
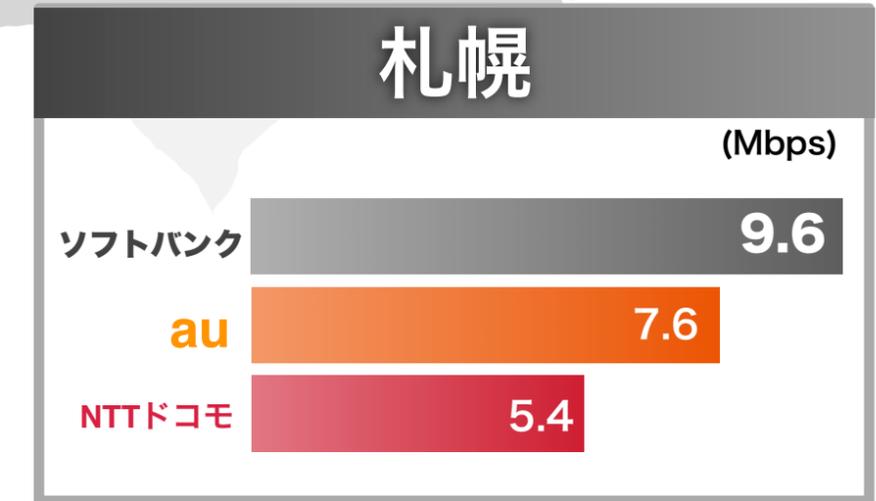
他社



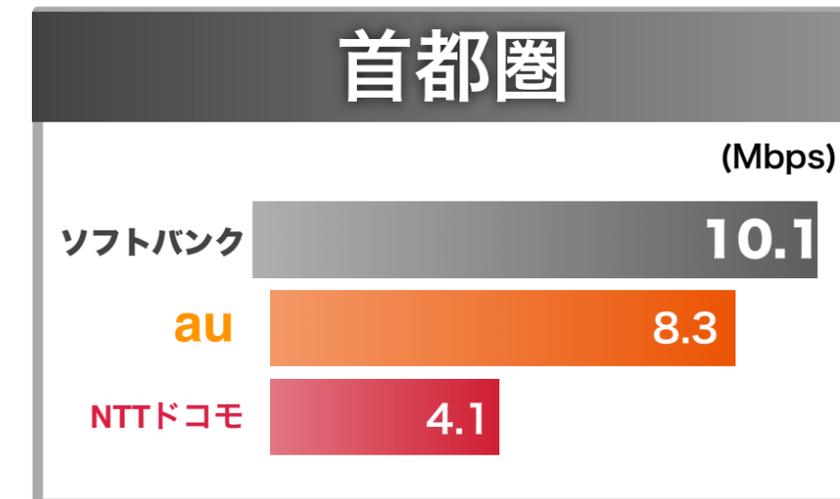
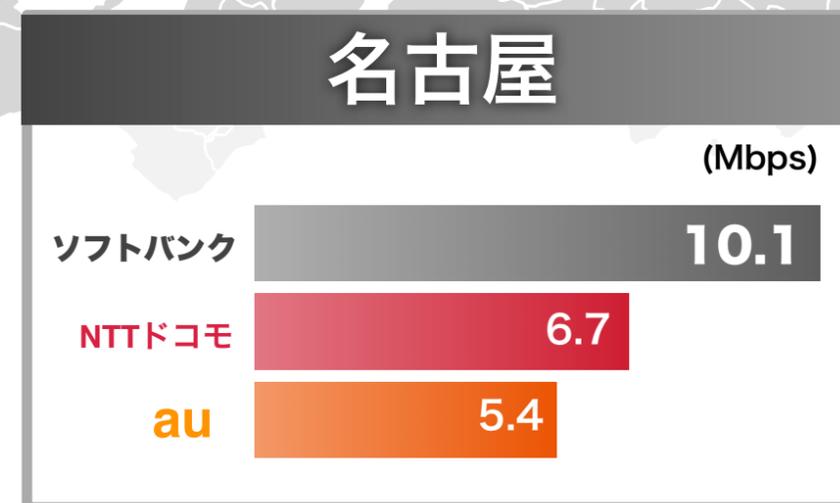
■ LTEエリア ■ 3Gエリア

※通信を始めてから、ダウンロード開始までの時間が0.1秒未満のログをLTE相当と定義
(調査期間：2013/2/10～4/24)

週刊アスキー LTE速度調査



全都市圏で No.1



(出所) 週刊アスキー 2013/3/26号
全国30地点でのLTE平均速度調査
(都市圏・下り速度)
NTTドコモ: GALAXY S III
au: iPhone 5 SoftBank: iPhone 5

山手線圏内 ダブルLTE化完了

(2013年4月初旬)

2.1
GHz

SoftBank



1.7
GHz

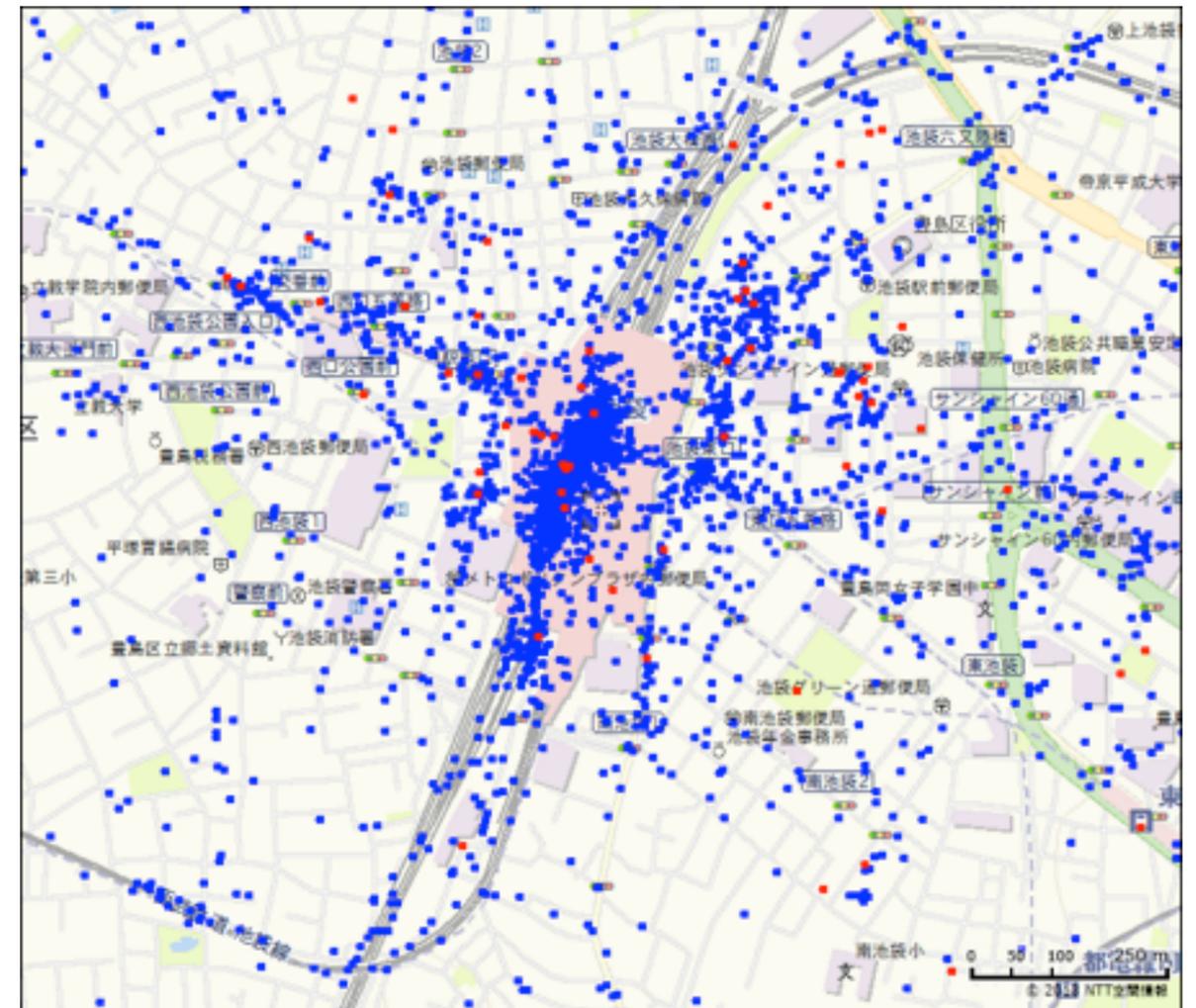
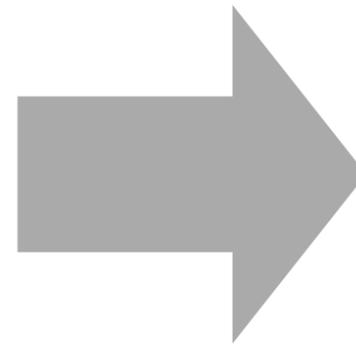
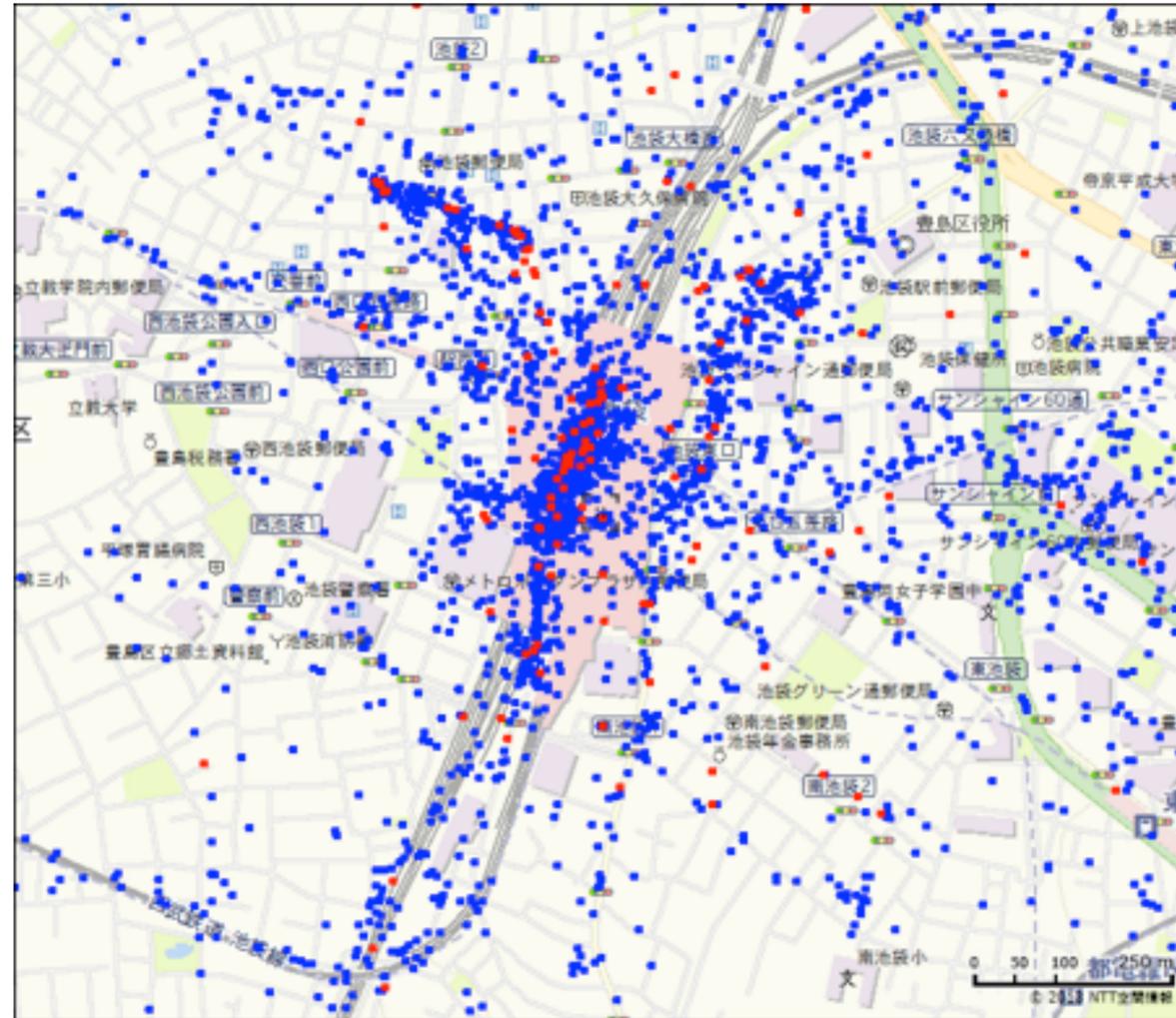
EM
EMOBILE



パケット接続率(池袋駅周辺)

ダブルLTE 開始前(3月6~7日)

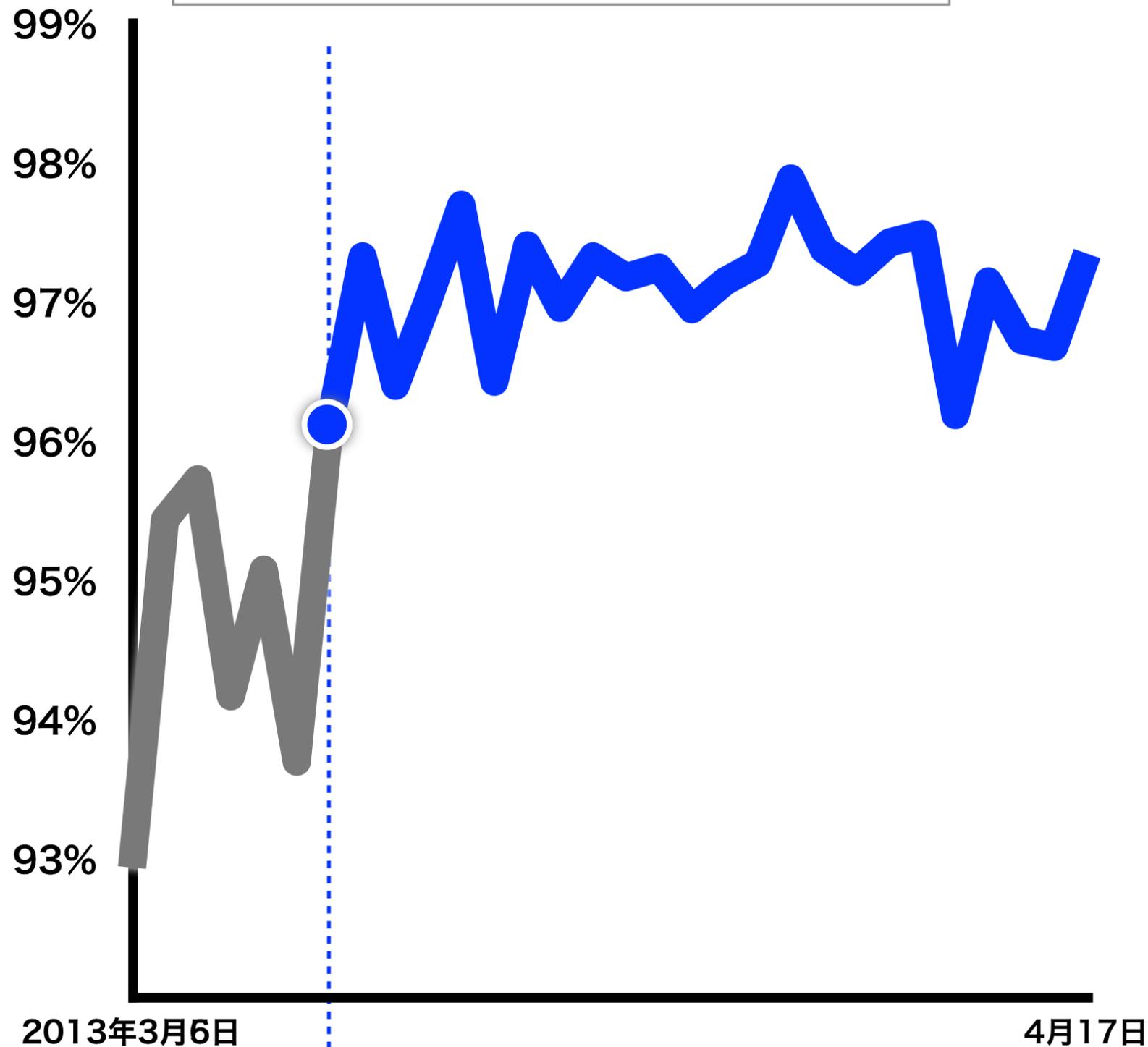
ダブルLTE 開始後(4月4日)



■ 接続OK ■ 接続NG

※圏外または10秒間の通信不可を「接続NG」と判定

パケット接続率(池袋駅周辺)



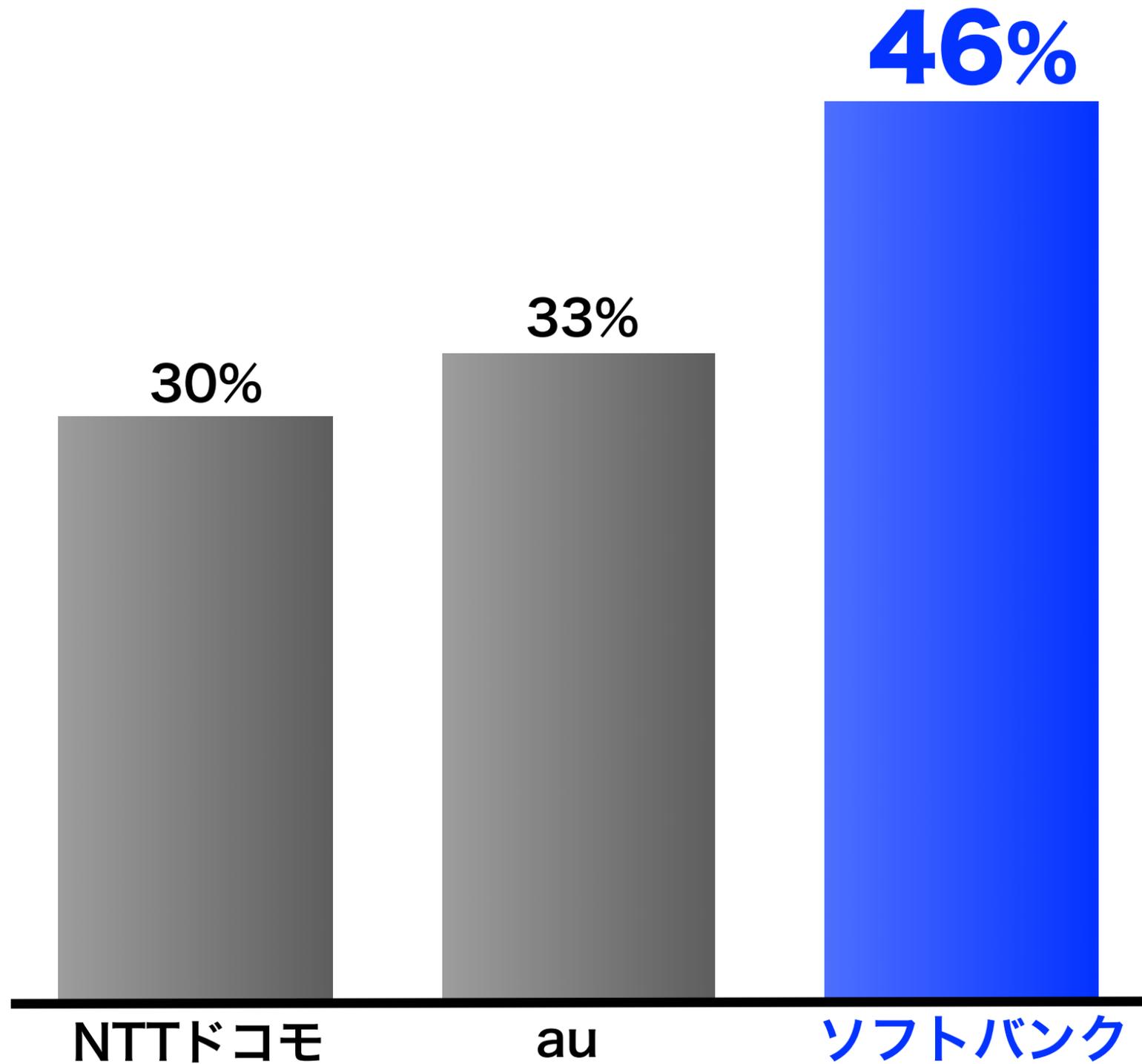
ダブルLTE後 大幅改善



※平日のみ

ダブルLTE開始

高速通信 つながりやすさ実感調査

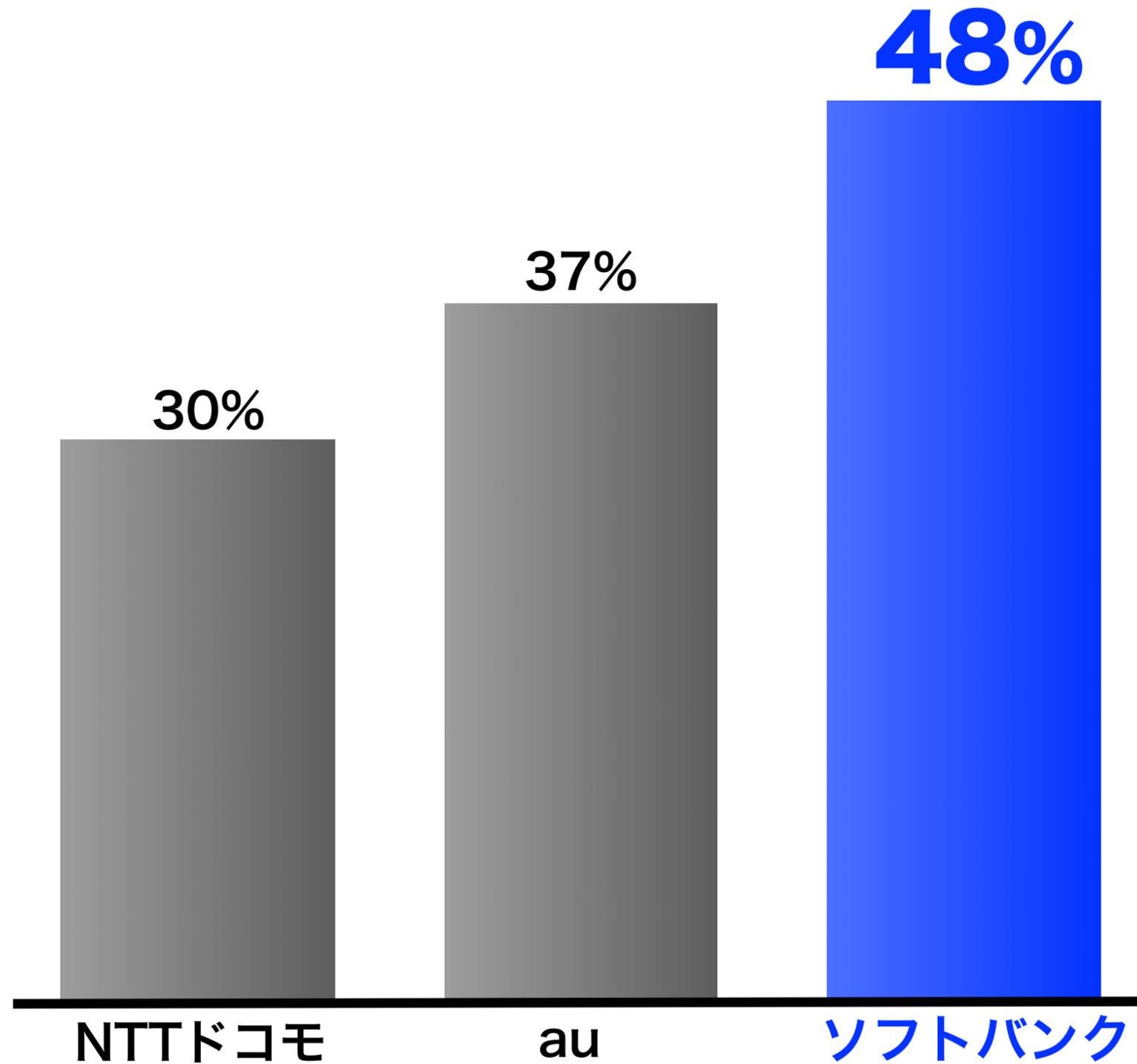


スマホ
つながりやすさ実感
No.1



出所：(株)リサーチパネルエイジア「国内におけるスマートフォンの通信状況に関する調査」
各キャリア4,200サンプル、計12,600サンプルから集計 (2013年3月)
※高速通信(Xi, 4G, LTE等)スマートフォンユーザーのうち、高速通信に
「非常につながりやすい」「つながりやすい」と回答したユーザーの合計比率

高速通信 速度実感調査



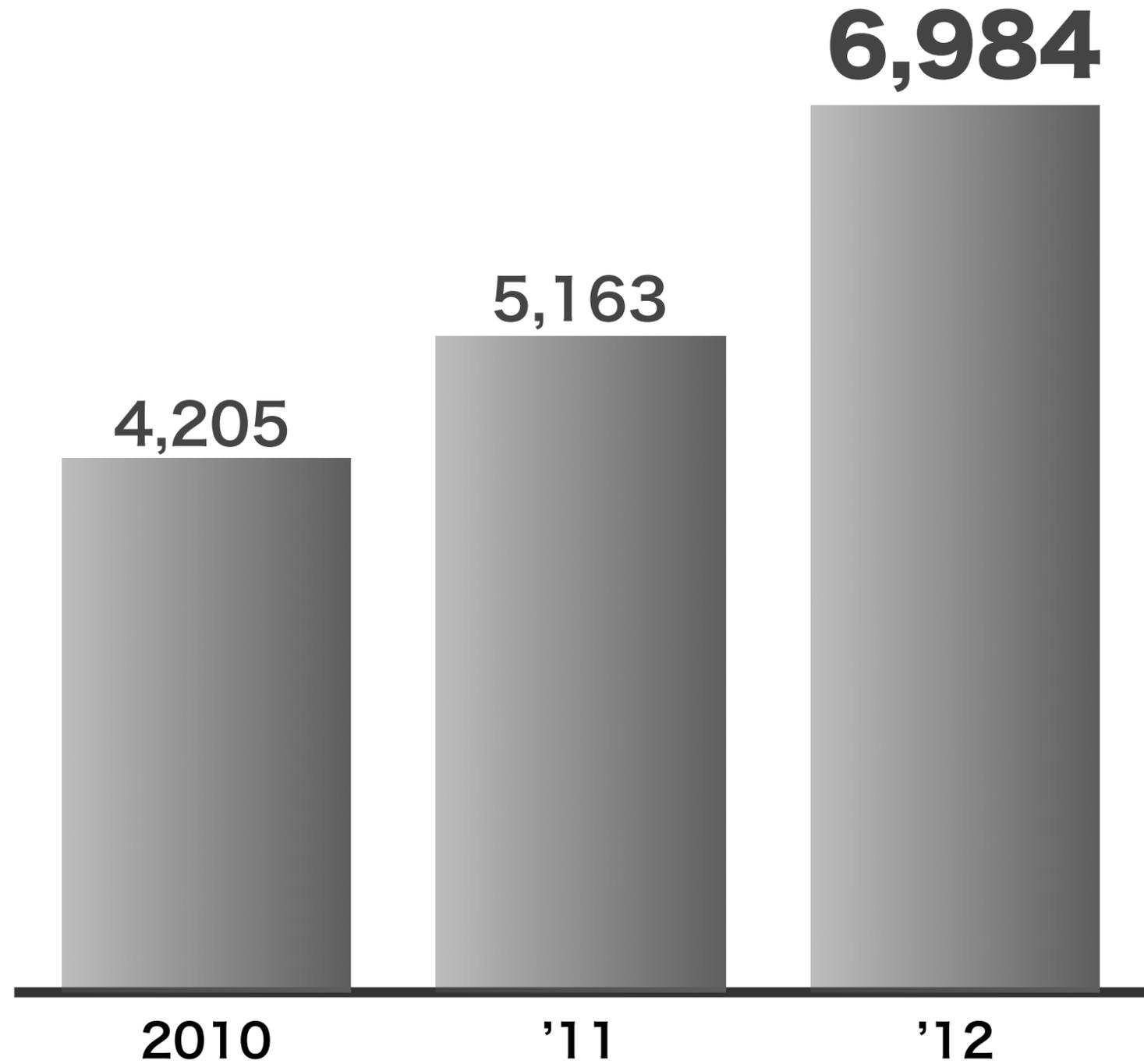
スマホ速度実感 No.1



出所：(株)リサーチパネルエイジア「国内におけるスマートフォンの通信状況に関する調査」
各キャリア4,200サンプル、計12,600サンプルから集計 (2013年3月)
※ 高速通信(Xi, 4G, LTE等)スマートフォンユーザーのうち、高速通信の速度について「非常に速い」「速い」と回答したユーザーの合計比率

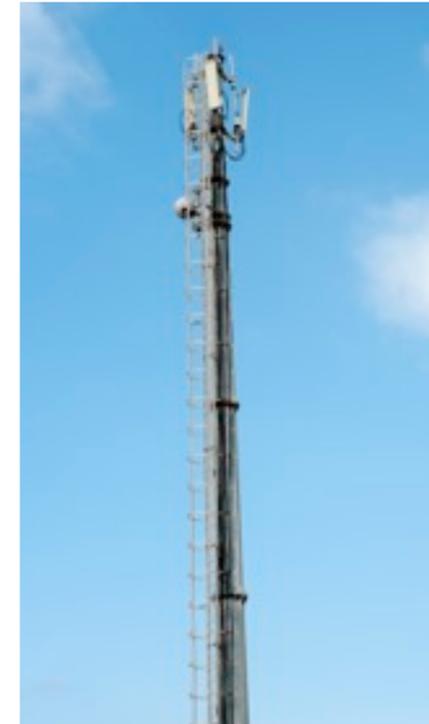
(億円)

連結設備投資



(年度)

設備投資を積極展開



※2012年度はヤフオクドーム関連を除く

業績見通し

10年以内に
ドコモを超える

2013年度 見通し

国内 営業利益
(国際会計基準)

1兆円以上

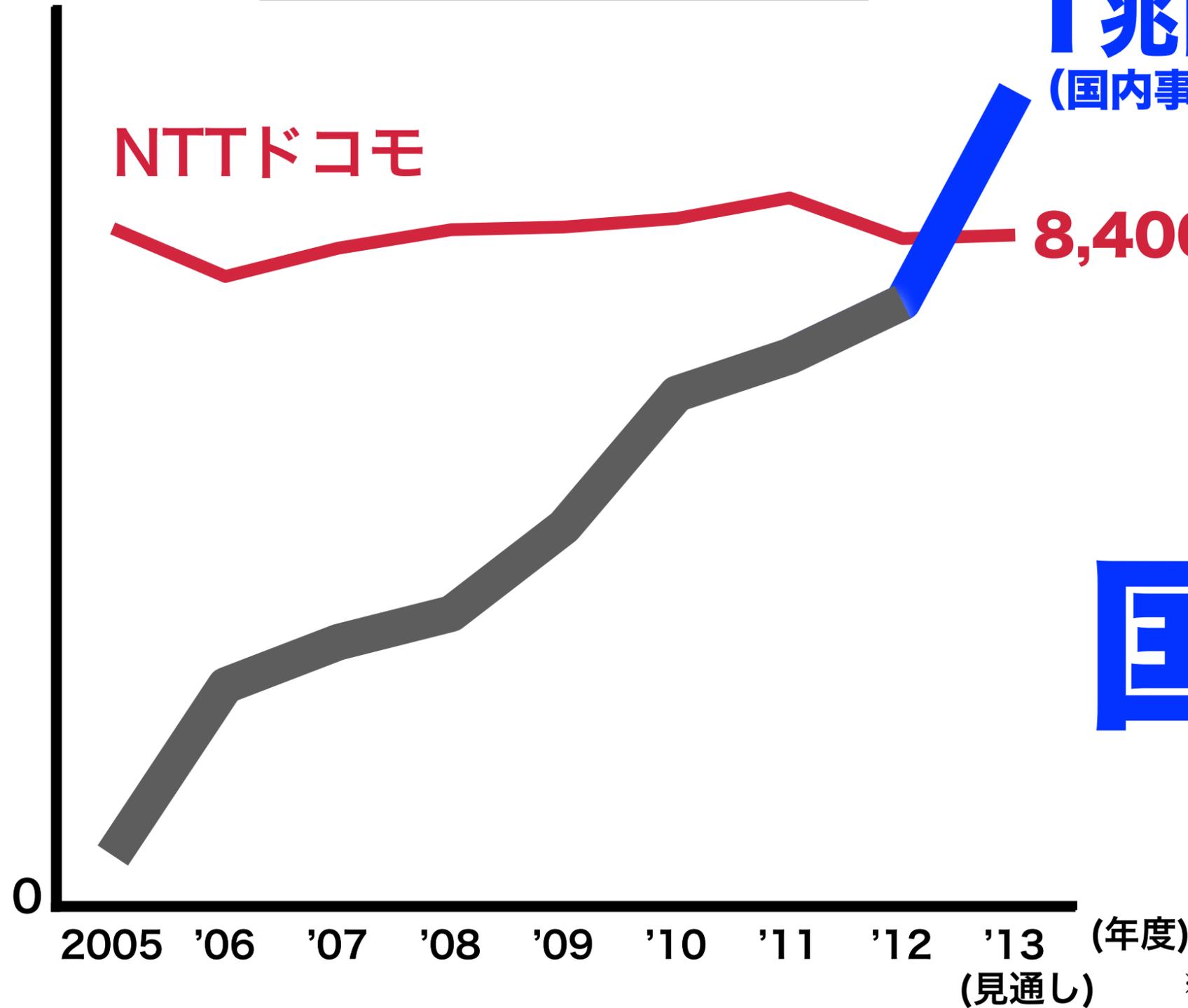
(ガンホー連結化に伴う一時益約1,500億円を含む)

営業利益

1兆円以上 ソフトバンク (国際会計基準) (国内事業)

NTTドコモ

8,400億円 (米国会計基準)



国内No.1へ

※各社の開示資料を基に当社作成

※ソフトバンクの営業利益は2012年度までは日本会計基準、2013年度は国際会計基準

SoftBank

2012年度

NTT docomo



4% → 52%

純増シェア

48% → 17%



約19万局

基地局数

約10万局



1位

CM好感度

9位



1兆円以上

営業利益
(2013年度予想)

8,400億円

国内No.1へ

NTTドコモの基地局数：NTTドコモ ウェブサイト
CM好感度：CM総合研究所/CM DATABANK (全1,941社中)
ソフトバンクの営業利益は国内事業(国際会計基準)

国内No.1は通過点

**モバイルインターネット
世界No.1へ**



質疑応答

1. 「セグメント情報等の開示に関する会計基準」の適用について

2010年度第1四半期から「セグメント情報等の開示に関する会計基準」および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用しています。2009年度の業績は、これらの基準が適用されていたと仮定して算出した数値を掲載しています。

2. 本資料中の用語の定義等について

フリーキャッシュフロー(FCF、純現金収支)=営業活動によるキャッシュフロー+投資活動によるキャッシュフロー

EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却額

純有利子負債=有利子負債-手元流動性

有利子負債=短期借入金+コマーシャルペーパー+1年内償還予定の社債+社債+長期借入金。リース債務を含まず。ボーダフォン日本法人の買収に伴う事業証券化スキームにおいて発行された社債(銘柄: WBS Class B2 Funding Notes、発行体: J-WBSファンディング(株))のうち、当社が2009年度に取得した額面270億円を除く。手元流動性=現金及び預金+流動資産に含まれる有価証券(当社米国子会社が保有していたYahoo! Inc.株式を除く)

「過去最高」「最高益」は、当社が連結決算を開始した1994年度以降。

なお当社は、(株)ウィルコムの子会社として発行済株式を100%保有していますが、同社は会社更生法上の更生会社であり、当社と同社の間では有効な支配従属関係が存在しないと認められることから、子会社としていません。

3. 登録商標・商標について

本資料に掲載されている会社名、ロゴ、製品名、サービス名およびブランドなどは、ソフトバンク株式会社または該当する各社の登録商標 または商標です。本資料の一部あるいは全体について、当社の許可なく複製および転載することを禁じます。

- iPhone、iPadはApple Inc.の商標です。

- iPhone商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。